

ニ掛ツテ居リマスニ案 合計五案トモ 其ノ性質ニ於テハ異ツテ居リマスルガ、財源ヲ補填スルト云コトニ付テハ、公債發行其ノ他ノ方法ニ依ルノデアリマシテ、相共通シテ居ル所モアリマスルカラ、此ノ五案ヲ一括シテ議題ニ供シテ置イタラドウカト思フノデスガ、御異議アリマセヌカ

ソレニ臨時軍事費ト云ヒ、又外ノ特別會計ニ
於キマシテモ、劃期的ナ大キナ豫算デア
リマシテ、厖大豫算ト言ツテ宜イカドウ
カ知ラヌガ、兎ニ角今マデニナイ所ノ大
キナ豫算デアリマスノデ、之ヲ實行スル
コトニ付キマシテハ、大藏省ト致シマシ

マスカ
既ニ御承知ノ通り昨年ノ下半期
殊ニ十月三國同盟ニ加入シテ以來ノ日本ノ
經濟界ハ、色々政府モ御苦心ノアツタコト
トハ信ジマスガ、聊カ貯蓄獎勵其ノ他ニハ
困難ヲ感ズルヤウナ狀態ニナツタヤウニ思
ヒマス、私ハ先づ何ニシテモ公債消化ガ第
一デナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居

或ハ投資額カドノ位ニナツタカト云フコト
ヲ見マスト、十二年、十三年、十四年、此
處マデハ大體物資ノ生産ガ投資ヲ超エテ、
非常ニ盛ニナタヤウニ思ハレマスルガ、
十四年ノ暮アタリカラ頗ル變ツテ來マシテ、
一方投資ノ方ハドシ々殖エルニ拘ラズ、
生産ノ方ガ之ニ伴ハナイヤウナ狀況ヲ來シ

○松田委員長 ソレデハサウ云フ風ニ決定致シマス、本日ハ大藏大臣及ビ陸海軍大臣、其ノ他ニ要求サレテ居ル政府當局ニハ出席交渉中デアリマス、先ヅ大藏大臣ニ對シテノ御質問ハ通告順ヲ別ニ致シマシテ御願ヒヲ致シタイト存ジマス

○森(肇)委員 資料ヲ要求シタイ——御手數デスガ、今マデ議決シマシタ豫算ニ關係ノアル公債發行額ト云フモノハ、豫算ヲ見レバ分ルト思ヒマスガ、其ノ外ニ色々法律ノ結果トシテ發行サレル交付公債ガアルデアラウト思ヒマスガ、ソレハ十六年度ノ關係ニ於テ何程ニナリマスカ、御調べガアルナラバ御示シヲ願ヒタイ

○松田委員長 ソレデハ本委員會ハ折角急イデ審議ヲスルノデアリマスカラ、政府ノ方デハ急イデ御出シヲ願ヒタイ、質問ノ前會ノ續ガアリマシテ、宇賀君が繼續サレテ居リマスカラ、差當リ宇賀君ニ願ヒマシテ、大藏大臣ニ御質問ノアル方ハ漸次御申出ヲ願ヒマス——宇賀君

○宇賀委員 私ハ前會御質問致シタ趣旨ト多少重複スルカモ知レマセヌガ、折角大藏大臣ガオイデニナツタコトデアリマスカラ、ドウカ一ツ大藏大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ二十分間デ致シマス

態度ヲ以テ之ヲ實行シナケレバ、中々實行ガ困難デハナイカト思ヒマス、ノミナラズ之ヲ實行スル爲ニ、經濟界其ノ他ニ多大ナ影響ヲ及ボシマスノミナラズ、國民ノ個人生活ニモ影響ヲ及ボスヤウナコトニナルダラウト思ヒマスヘ、此處デ問題ニナツテ居リマスノハ、ソレ等ノ豫算ヲ實行スル場合ニ於キマシテ、ソレノ財源ガアリマスガ、其ノ財源ノ不足ハ總テ公債ニ依ツテ、之ヲ賄ツテ行クト云フコトニナリマスト、先日來大藏次官カラ承リマシタガ、先ヅザツト考ヘテ昭和十六年度ハ七十五億圓以上アル、或ハ又十七年度ノ二月、三月ノ臨時軍事費ヲ頭ノ中ニ描イテ入レルナラバ、少クトモソコニ八億ヤ十億ノ公債發行額ヲ要スルダラウト云フコトヲ想像致シマスト、八十億ノ豫算ニナリハシナイカ、勿論歲入ノ調子ガ好ケレバ、ソレ程ノ公債ヲ發行シナクテ濟ムカト思ヒマスガ、先づ八十億見當ノ公債發行ニナリハセヌカト思ヒマス、此ノ公債發行ノ方法ト致シマシテ、從來大藏省カラ承ツタ所ニ依ルト、別ニ大シタ新シイ方法ハ何等行ハナイ、總テ從來ノ方法ニ依ツテ、一般ノ國民ノ勤儉貯蓄ノ獎勵ヲトデ、別ニ目新シイコトハナイヤウデアリ

ギマスト、生産力擴充ニ要スル所ノ資金ノ
方ヲ壓迫スルト云フコトニナルト、却テ面
白クナイ結果ヲ來シハシナイカト思ハレル、
ソコデ此ノ貯蓄獎勵ハ勿論本則トシテ、當
然是ハ從來ヨリモ輪ヲ掛ケテ努力シナケレ
バナラヌト云フコトハ私共認メマス、併シ
ナガラ貯蓄獎勵一點張リデ、果シテ此ノ太
キナ公債ノ消化ガ出來ルカドウカト云フコ
トヲ考ヘテ見マスト、是ハドウシテモヤハ
リ國家ノ生産力ヲモット旺盛ニシテ、物資
ヲウント豊富ニ作リ、サウシテ國民生活ヲ
豐カニスルト云フマデハ行カヌケレドモ、
國民生活ヲ或ル場合ニ於キマシテハ壓迫サ
レテモ致シ方ガアリマセヌ、ソレハ覺悟ト
前デアリマスガ、成ベク國民生活ヲ壓迫シ
ナイヤウニ、又壓迫シテモ或ル一定ノ程度
ニ止メルヤウニ致シマシテ、サウシテ軍備
ノ爲ニ必要ナル所ノ物資ヲ作ラナケレバナ
ラヌ、サウ云フ風ナコトヲ考ヘルト、ドウ
シテモノ生産力發展ト云フコトニ努力シナケ
レバナラヌダラウト思フ、所ガ今マデノ生産
私共能ク分リマセヌケレドモ、昭和六年ヲ
基準ニ致シマシテ、兩方トモ百ト看做シテ、
ソレカラ生産力ガドノ位大キクナツタカ、

ス、固ヨリ是等ハ色々ノ事情モゴザイマセウ、此ノ間大藏次官カラモ承ツタノデアリマスルガ、建設過程ニ於キマシテ資本ガ少ヌケレドモ、併シナガラ前ヨリカモ生産ガ減少スルト云フヤウナコトハ、聊カ諒解シニクイ點ズハナイカト思ヒマス、其ノ細カイ數字ハ私モ持ツテ居リマセヌガ、商工省ガ生産指數ヲ發表致シテ居リマス、其ノ由ノ製造工業竝ニ鑛業、此ノ二ツノ數字ヲ併ツテ見マシテモ、今私ガ申シマシタヤウニ十四年ノ暮カラ十五年ニ掛ケテ段々悪クツテ來テ、サウシテ投資ノ方ハドンヽヽヽ之ニ金ガ掛ツテ來ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居リマシテ、是ハ或ハ外國カラ材ガ來ナカツタトカ、勞力ガ思フ通リニマラナカツタトカ、或ハ必要ナル所ノ物率ガ手ニ入ラナカツタト云フヤウナコトガアツタガリナクナツタト云フヤウナコトガアツタトハ事實デアリマスルガ、其ノ電力ガ回復シタ昨年ノ三、四月頃カラノ數字ヲ調べテ電力ガ不足シタ、其ノ結果今度ハ石炭ガ少ヌトハ事實デアリマスルガ、其ノ電力ガ回復見マシテモ、只今マデ商工省デ發表シタノハ九月マデシカアリマセヌカラ、九月以後

ヲ取調べテ見テモ、其ノ前年ニ比べテソレゾレ皆減少ニナツて居ルノハ、私洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、私共ガ今後はダケノ大キナ豫算ヲ消化シ、サウシテ公債ヲ募集シテ、而モ軍事上ノ必要ニ何等支障ナイダケノコトヲヤツテ行カウトスルナラバ、ドウシテモ工礪業ヲ大イニ發展サセナケレバナラヌト思ハレマスルガ、事實ニ於テハサウ云フ風ニナツて居ナイ、是ハ私、此處ニ細カイ數字ヲ擧ゲテ申シテモ宜シゴザイマスガ、既ニ商工省デ發表ニナツタ數字ハ御分リノコト思ヒマスカラ、茲ニ省キマスルガ、之ニ付テハ何カ少シ、大藏省ハ單ニ資金調整法ト云フ一ツノ調整法ニ依リマシテ、資金ガ不要不急ノ所ニ行カナイヤウニ、成ベク必要ナ所ニ行クヤウニト、斯ウ言ツテ統制ヲナスツテ居ルノデアリマスルケレドモ、其ノ統制ニ對スル力ガ少シ足リナインデヤナイカ、私ハ餘リ細カイコトハ能ク分リマセヌケレドモ、出來ルナラバモウ少し資金調整法デ御許シナルノニ、單ニ「エー・ビー・シー」ト云フヤウナ、「クラスファイ」ヲサレタ等級ニ依ツテ、ドン／＼片ツ端カラ御許シニナラズニ、斯ウ云フヤウニテ生産ガソレニ伴ハナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ドウシテモヨク言フ所ノマスガ、其ノ爲ス所ヲ見マスルト、是ガ果シテ重點主義ヲ應用シナケレバナラヌ、サウ云フコトハ分リ切ツテ、誰デモ重點主義ト云フコトハ、耳ニ胼胝ガ出來テ居ルノデアリマスガ、其ノ爲ス所ヲ見マスルト、是ガ果態ガ、今日日本ノ現在ノ状態デアルト言ツテ宜イノデアリマス、唯茲ニ一ツ變ツテ來

タノハ、三國同盟以來製鐵所ノ方針ガ、日本製鐵株式會社ト云フ所ノ社長ガ中心ニナリマシテ、全企業ノ原料ノ統制カラ、製品ノ配給カラ、ソツクリヤルヤウナ風ニ、日滿支ヲ通ズル統制ヲナサルヤウナコトニナツテ居リマスルガ、他ノ企業ニモ全部斯ウ云フ風ナ方針ヲドシヽ實行ニナリマシテ、假令ソレガ三年、五年先ヘ行ツタラバ立派ナ效果ヲ結ブヤウナモノデアツテモ、今現ニ二年モ三年モ經ツト云フヤウナモノ、或ハモット茲ニ大キナ物資ヲ補給シナケレバ成功シナイト云フヤウナモノハ、此ノ際一時之ヲ差措イテ、少クモ先ヅ一年カ半年位ノ間ニ持ツテ居ル所ノ限ラレタル物資ト勞力ト資力トヲ集中致シマシテ、ソレヲ先ツ完成サセテ、サウシテ少クモ毎月々ノ生産額ハ前月ヨリモ多クナルヤウニ、又前年同期ヨリハ勿論生産額ガ多クナルヤウナ、一ツ表ヲ作ルヤウナコトニ、御骨折ヲ願ヘルコトニ行カナイグラウカ、斯ウ云フコトヲ自分ハ考ヘル、金ヲ溜メルノハ結構デアルケレドモ、溜メル人間ト使フ人間、企業家ト投資家ト云フモノハ、必ズシモ一ツヂヤアリマセヌ、折角貯蓄家ガ自分ノ生活費ヲ縮小シマシテ、所謂涙ノ出ルヤウナ汗水ノ金ヲ溜メタ、ソレヲ企業家ガ自分ノ仕事ニ使ツタ、勿論其ノ企業家ハ必ずは成功スルト思ヘバコソ御使ヒニナツテ、企業ヲ起スノグラウト思フケレドモ、ソレガ他ノ者ノ目カラ見レバ、洵ニ放漫ノ極ダト言ハレルヤウナ場合モ往々アルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ云フヤウナ所マデ、大藏省ハ臨時資金調整法ト云フ一ツノ武器ヲ御持チニナツテ居ルノデアルカラ、其ノ武器ヲ御使ヒニナツテ、サウシテ鑑別

ラスルヤウニ御努力ナサツタラドウカ、若シモソレガ出來ナイナラバ、商工省ナリ企畫院ナリト一ツノ委員會ヲ作リマシテ、其ノ委員會ニ力ヲ持タシテ仕事ヲヤルヤウニシタラドウカ、又今日物資ハ日本ハ少トイ云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスルガ、私共ノ見ル所ニ依リマスルト、今日ハ成程物入ルト云フノガ、現在ノ状態デアリマス、併シナ居リマスルコトハ事實デアリマス、併シナガラ金サヘ出セバ大抵ノ物ハ幾ラデモ手ニモノハ公定價格ハ慥カ一樽十七、八圓ノチノデアリマスルガ、十倍ノ百七十圓カラ一百圓出シマスレバ、十樽ヤ二十樽立チドヨロニ辨ズルト云フヤウナ狀態デアリマス、兎ニ角アルト云フコトハ言ハレナイケレドモ、私ハ物ハ相當世ノ中ニアルヤウニ思ツテ居リマス、中ニハ或ル製造業者ハ三年定位ノ原料、材料ヲ抱ヘ込ンデ居ル人モアルト云フヤウナコトヲ申シテ居リマスルガ、私共モサウ云フ風ニ思ハレルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、ドウカ政府モ此ノ際總動員法ノ何カ大膽ナ發動ヲナサツテ、茲ニ凡ユル日本ニ於ケル現存物資ヲ御調查ナサツテ、サウシテ今直グニ要ラナイ二年モ生ノ材料、原料マデヲ買込ンデ、自分ノ仕事ノ便宜ヲ圖ルト云フヤウナ者ガ澤山アルト云フコトデアリマスカラ、サウ云フ者カラル所ノ物資モ、豊富ニナルノデヤナイカト思ハレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大蔵ト生産ハ増進サレテ、サウシテ軍ノ需要ヲ御伺ヒ出來レバ幸甚大臣ノ御所見ノ一端ヲ御伺ヒ出來レバ幸甚

ダニ細ニマヌ

○宇賀委員 私モウ一ツ簡單ニ御伺ヒ致シ
タイノハ、前會次官ニ伺ヒマシタラ、今度
ノ貯蓄ノ目標ハ百三十五億、サウシテ七十
億ヲ國債ニ充當スルヤウニ致シマシテ、六
十何億カノ方ハ、生産力擴充資金其ノ他ニ
向ケルト云フヤウナ御考ヘデ、貯蓄ノ目標
ヲ決メルト云フヤウニ承リマシタ、昨年ノ
十一月ノ一日ニ、日滿支ノ三國ヲ將來一體
トル向フ十箇年間ノ計畫ヲ作ルト云フコ
トニナリマシテ、其ノ中ノ金融計畫ニ付テ
斯ウ云フヤウニスル、何ニ付テハ斯ウ云フ
ヤウニスルト言ツテ、ソレト分擔ガ決ツ
タヤウナ風ニ新聞デ承知致シマシタガ、若
シモ本當ニ計畫の仕事ヲオヤリニナラウ
ト思フナラバ、ヤハリ豫算ヲ御作リニナル
ト同時ニ、其ノ豫算ヲ實行スルニ相當スル
所ノ物動計畫ヲ御作リニナツテ、同ジャウ
ニヤハリ日滿支ヲ通ジタル所ノ資金ノ分配
計畫ト云フモノヲ、私ハ政府ガ御作リニナ
ラナケレバナラヌダラウト思フ、實際國債
ニ幾ラ、社債ニ幾ラ、株式ニ幾ラ、ソレカ
ラ朝鮮、臺灣ハ、ヤバリ是モ幾ラカ内地デ
資金ヲ供給シテヤラナケレバナラヌダラウ
ト思ヒマスルガ、殊ニ滿洲ノ如キハ、昨年
ノ如キハ日本ヨリ十何億カノ資金ヲ融通シ
テ貰フコトヲ計畫シテ、色々仕事ヲヤリマ
シテ、サウンテ自分ノ所ノ資金ヲ集メテ、
二十八億位ノ生產力擴充ニ對スル計畫ヲ作
リマシタ所ガ、昨年ノ五、六月頃、ドウ云
フ加減デアリマシタカ、私共ニハ能ク分リ
マセヌケレドモ、内地カラ圓資金ノ供給ガ
恩フ通リニ行カナイト云フノデ、事業ヲ中
途ニ小サク致シマシテ、其ノ結果トシテ——
是ハ其ノ點バカリデハナイデアリマセウ、
他ノ理由モ多々アルダラウト思ヒマスケレ

○宇賀委員 私ハ是デ大藏大臣ニ對スル質
問ハ宜シウゴザイマス
○松田委員長 朴君、大藏大臣ニ……

○朴委員 私ハ公債消化ニ付テ大藏大臣ニ
承リタイト思ヒマス、其ノ前ニ二月十五日
ノ赤字委員會デ、宇賀四郎君カラ大藏次官
ニ對シテ公債消化ノ質問ガアリマシタ、大
藏次官ハ國民貯蓄目標ハ百三十五億ヲ豫定

ドモ、滿洲ノ企業ハ思フ通リノ發展ヲスル
コトが出來ナクテ、事業ノ繩延ヲシナケレ
バナラヌヤウナ狀態ニナツタヤウニ思ハレ
マス、勿論滿洲ノ事業ノコトニ付キマシテ
ハ、大藏大臣以外ニ對満事務次長ニモ聽イ
テ見ヨウトハ思ヒマスケレドモ、サウ云フ
支方面ノ資金計畫ヲ、ドウシテモ御持チニ
ナラナケレバナラヌ、昭和十六年度ノ第一
期、一月カラ三月マデノ日滿支三國ニ於ケ
ル所ノ資金計畫ハ、既ニ出來テ御發表ニナ
ツテ居リマスガ、十六年度ノ資金計畫ニ付
テハ何等聞ク所ガゴザイマセヌ、既ニ出來
テ居ルノデアリマセウカ、出來テ居ルナラ
バ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス
○河田國務大臣 資金計畫ニ付キマシテモ、
是ハ今年ニ限ツタコトデハゴザイマセヌガ、
御說ノ通り日滿支ヲ通ジテ計畫ヲ立テ居
リマス、十六年ノ四月以降ニ於キマシテモ、
或ル程度ノ資金計畫ヲ今持ツテ居リマス、
ソレデ先般來昭和十六年度ノ貯蓄目標ハ、大
體本年度ヲ實績ニ徵シマシテモ、百三十
億乃至百三十五億ニナルト云フ判断ヲ致
シマシテ、關係當局トモ十分打合セテ
シマシタカラ、幾ラト明言ハ致シ兼ネル
ガ、大體百三十億以上ヲ目標ニナシ得ル
ト思フト申上ゲタノデアリマス、偶、同日
事務當局デハ檢討ノ結果、大體百三十五億
デ間違ヒナシト云フ確信ヲ抱イテ居リマシ
タモノデスカラ、次官ガサウ御答ヘシタノ
デスガ、私ハ其ノ日ハマダグ其ノ檢討ノ結果
ノ報告ヲ受ケマセヌデシタ爲ニ、サウ云フ
ヤウニ多少不明瞭ナコトニナツタノデゴザ
イマス、今日ニ於テハ私モ全クサウ確信シ
テ居リマス

○朴委員 私ハ此ノ前此ノ委員會デモ公債
ノ見透シニ付テ伺ヒマシタガ、私共ノ考ヘ
テハ年々公債ハ膨脹スル一點張リト思フノ
デアリマス、何ガ故カト云フト、支那事變
ガ片付イタトシテモ、日本ガ東亞新天地ヲ

シテ居ルト云フ答辯ガアツタ、然ルニ同ジ
ノ豫算委員會デ、大藏大臣ハ百三十五億
ノ國民貯蓄目標ハ未定デアルト云フ答辯ガ
アツタ思ヒマス、是ハ大藏省トシテハ、
臣ドチラガ眞實デスカ
大藏大臣ト大藏次官トノ答辯ニ依ツテ、大
變食達ヒガアルヤウニ思ヒマスガ、大藏大
臣マスガ、食達ヒハナイ積リデゴザイマス、ト
申スノハ、本年ハ約百二十億ノ貯蓄目標デ參
リマシタ所ガ、十二月末ニ既ニ百億ヲ超過
シテ居リマスガ、八優ニ百二十億ニ
達スルト云フ見込ガ確實デゴザイマス、ソ
コデ先般來昭和十六年度ノ貯蓄目標ハ、大
體本年度ヲ實績ニ徵シマシテモ、百三十
億乃至百三十五億ニナルト云フ判断ヲ致
シマシテ、關係當局トモ十分打合セテ
シマシタカラ、幾ラト明言ハ致シ兼ネル
ガ、大體百三十億以上ヲ目標ニナシ得ル
ト思フト申上ゲタノデアリマス、偶、同日
事務當局デハ檢討ノ結果、大體百三十五億
デ間違ヒナシト云フ確信ヲ抱イテ居リマシ
タモノデスカラ、次官ガサウ御答ヘシタノ
デスガ、私ハ其ノ日ハマダグ其ノ檢討ノ結果
ノ報告ヲ受ケマセヌデシタ爲ニ、サウ云フ
ヤウニ多少不明瞭ナコトニナツタノデゴザ
イマス、今日ニ於テハ私モ全クサウ確信シ
テ居リマス

○河田國務大臣 公債消化ノ方法ニ付キマ
シテ、今朴君ノ言ハレマス外地ノ公債所要
額ニ付テハ、成ベク外地ニ於テ之ニ應ズル
ト云フヤウニシタラドウカト云フコトハ、
洵ニ結構ナコトデアリ、サウアリタイト
シテ、相當時其ノ點ハ努力致シテ居ル筈ダト
考ヘテ居リマス、其ノ方法ノ一端トシテ、
何カ外地ニ適應シタル所ノ方法ヲ執ツテハ
ドウカト云フコトハ、是亦抽象的ニハ極メ

テ適當ナコトデアツテ、別ニ異議ノアルモノデハアリマセヌガ、今味ハヒ云々タト云フ言葉ガゴザイマシタ、例ヘバ満洲ニ於ケル彩票ト云ヒマスカ、富籤式ノモノヲ具體的ニ考ヘラレナイカト云フ御話ト承リマシタガ只今ノ報國債券ハ、是ハ富籤デハゴザイマセヌ、割増金附債券ト云フコトニナツテ居リマスガ、是トテ御承知ノ通り、昨年此ノ案ガ出來マシタ時ニハ色々ナ議論ガゴザイマシタ、併シ是ハ既ニ法律ニナツテ出來テ居ルモノデアリマスカラ、今後益々利用シ活用シタイト考ヘテ居リマス、既ニ出來タ制度ヲ廢止スルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌケレドモ、外地ニ於キマシテ、外地ニ適用スルヤウナ味ハヒノアル旨味ノアル方法ガゴザイマスレバ、非常ニ結構デゴザイマスガ、之ヲ具體的ニ純然タル彩票、富籤ト云フコトナリマスト、内地ト外地トハ多少事情ノ異ナル點モゴザイマスルノデ、之ヲ直チニ實施スルト云フコトハ無理カモ知レマセヌ、只今ノ所政府ト致シマシテハ、實イマス

○朴委員 一億一心、成ベク外地モ内地ト同ジヤウニヤリタイト思ヒマス、内地ハ今日相當ノ犠牲ヲ拂ツテ居リマスカラ、外地デ生レタ人達モ、ソレニ對シテ公債ノ消化ガ出來ルヤウニ、成ベク外地ノ人ニ餘計公債ヲ持タス方法トシテハ、ソレガ宜イノデヤナイカト思ヒマスカラ、大藏大臣既ニ御銀亞鉛、銅鉛等ノ鑛業ハ、大藏大臣既ニ御承知ノ通リ非常ニ危險性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ私ハ公債消化ニ關聯シ

テ居リマスカラ、此ノ間御尋ネシタ譯デアリマスガ、臨時利得稅ヲ内地ハ二割三分、外地ハ二割課ケテ居リマス、一方產金獎勵ニ對シテハ、三億万圓ト云フ厖大ナル豫算ヲ出シテ國策會社ヲ作ツテ獎勵ヲシテ居ル石炭ノ如キモ其ノ通りデアリマスガ、金銀、鉛ハ殊ニ今日ノ我國デハ非常ニ不足シテ居ル、斯ウ云ツタヤウナ危險ヲ持ツテ居ル鑛業ニ對シテ臨時利得稅ヲ二割モ取ルト云フコトハ、ドウ考ヘモ自分等ハ惡稅ト思フ、片ツ方デハ獎勵シテ置イテ、片ツ方デハ頭力ヲ押ヘル、是ハ決シテ臨時利得稅ヲ納メナイト云フノデハアリマセヌ、例ヘバ百万圓、二百万圓、三百万圓ト云フヤウナ會社ハ、政府カラ增產命令ガ來タ時ニハ、無理シテデモ坑内ニアルモノヲ出シテシマフ、出スト其ノ年ハ黒字デアツテ、其ノ黒字ニ對シ忽チ赤字トナル、大キナ會社ハ甲カラ乙、乙カラ丙ト補ツテ行キマスケレドモ、百万、二百万、三百万ト云フヤウナ小サイ會社ハ、ソレヲ補ツテ行クコトガ出來ナイ爲ニ、結局休山シタリ、或ハ株ガ暴落スルコトガ多イト私共ハ思フノデアリマス、是等ニ對シテハ臨時利得稅ト云フヤウナコトデナク二十割ノ基準ヲ設ケ、ソレマデハ稅金ヲ取 ragazziニ、二十割以上アツタ場合ニハ、之ニ全部公債ヲ持タシテヤル、其ノ公債ハ政府ガ出来ルシ、又ソレニ依ツテ株主ヘノ言譯モ出来ルシ、又ソレニ依ツテ金融モ出來ル、斯

○河田國務大臣 臨時利得稅ノ目的ハ、申上げルマデモナク過去ノ實績ニ照シマシテ、此ノ時局ノ爲ニ利益ガソレ以上ニ増大シタモノノ一部ヲ納メシムルト云フ趣旨デゴザイマスノデ、當該年度ニ過去ノ實績、若クハ實績ト看做スペキ利得ヨリモ、ヨリ以上ノ利益ガアツタ場合ニ、相當ノ擔稅力アリト見ルコトハ是ハ當然ノコトカト思ヒマス、但シ今朴君ノ言ハレマスノハ、非常ニ危險ノ多イ仕事デ、翌年ハナクナツテシマフト云フヤウナ企業ニ付テハ、何カ特例ヲ考ヘハナイカ、斯ウ云フ所ニアルト思ヒマス、今御舉ゲニナリマシタノハ、金銀、銅、鉛ト云フヤウナ鑛物會社デアリマスガ、他ニモ或ハ同様ノ性質ノモノガアルカモ知レヌト存ジマス、ソレ等ニ對シテ或ル程度稅トシテ取ルベキモノヲ保留サセテ、後ニ處分シタラドウカト云フ御說デゴザイマス、其ノ點ハ課稅上ノ技術トシテ、マダソコマデハ考ヘテ居リマセヌガ、御說ハ能ク分リマスノデ、調査ノ上研究致シタイト思ヒマス

○朴委員 此ノ問題ハ此ノ前モ鑛業法改正法律案ノ時、大藏大臣ニ隨申上ゲタ積リデアリマス、唯利得稅ヲ納メナイト云フヤウナ考ヘデ言フノデハアリマセヌ、公債消化ト云フ關係カラ言ヘバ、其ノ方が非常ニ不安ヲ與ヘナイデ、會社ノ任事ガ安全ニシナクチヤナラナイ、人間ガ足ラナイト云フ時ニ、アレデハ二重、三重、四重ノ手續ヲシナケレバ取ルコトガ出來ナイ、ドウモヨリ、極ヌテ簡單ニ日本ノ建前ニ依ツテテ居リマスカラ、此ノ間御尋ネシタ譯デアリマスガ、臨時利得稅ヲ内地ハ二割三分、外地ハ二割課ケテ居リマス、一方產金獎勵ニ對シテハ、三億万圓ト云フ厖大ナル豫算ヲ出シテ國策會社ヲ作ツテ獎勵ヲシテ居ル石炭ノ如キモ其ノ通りデアリマスガ、金銀、鉛ハ殊ニ今日ノ我國デハ非常ニ不足シテ居ル、斯ウ云ツタヤウナ危險ヲ持ツテ居ル鑛業ニ對シテ臨時利得稅ヲ二割モ取ルト云フコトハ、ドウ考ヘモ自分等ハ惡稅ト思フ、片ツ方デハ獎勵シテ置イテ、片ツ方デハ頭力ヲ押ヘル、是ハ決シテ臨時利得稅ヲ納メナイト云フノデハアリマセヌ、例ヘバ百万圓、二百万圓、三百万圓ト云フヤウナ會社ハ、政府カラ增產命令ガ來タ時ニハ、無理シテデモ坑内ニアルモノヲ出シテシマフ、出スト其ノ年ハ黒字デアツテ、其ノ黒字ニ對シ忽チ赤字トナル、大キナ會社ハ甲カラ乙、乙カラ丙ト補ツテ行キマスケレドモ、百万、二百万、三百万ト云フヤウナ小サイ會社ハ、ソレヲ補ツテ行クコトガ出來ナイ爲ニ、結局休山シタリ、或ハ株ガ暴落スルコトガ多イト私共ハ思フノデアリマス、是等ニ對シテハ臨時利得稅ト云フヤウナコトデナク二十割ノ基準ヲ設ケ、ソレマデハ稅金ヲ取 ragazziニ、二十割以上アツタ場合ニハ、之ニ全部公債ヲ持タシテヤル、其ノ公債ハ政府ガ出来ルシ、又ソレニ依ツテ株主ヘノ言譯モ出来ルシ、又ソレニ依ツテ金融モ出來ル、斯

○朴委員 此ノ割增金制度ハ、私共ハ隨分反對シタ、アリマス、之ニ對シテ私ハ公債消化ニ關聯シテ居リマスガ、此ノ間御尋ネシタ譯デアリマス、ソレニ依ツテ出來ルシ、又ソレニ依ツテ金融モ出來ル、斯

○河田國務大臣 臨時利得稅ノ目的ハ、申上げルマデモナク過去ノ實績ニ照シマシテ、此ノ時局ノ爲ニ利益ガソレ以上ニ増大シタモノノ一部ヲ納メシムルト云フ趣旨デゴザイマスノデ、當該年度ニ過去ノ實績、若クハ實績ト看做スペキ利得ヨリモ、ヨリ以上ノ利益ガアツタ場合ニ、相當ノ擔稅力アリト見ルコトハ是ハ當然ノコトカト思ヒマス、但シ今朴君ノ言ハレマスノハ、非常ニ危險ノ多イ仕事デ、翌年ハナクナツテシマフト云フヤウナ企業ニ付テハ、何カ特例ヲ考ヘハナイカ、斯ウ云フ所ニアルト思ヒマス、今御舉ゲニナリマシタノハ、金銀、銅、鉛ト云フヤウナ鑛物會社デアリマスガ、他ニモ或ハ同様ノ性質ノモノガアルカモ知レヌト存ジマス、ソレ等ニ對シテ或ル程度稅トシテ取ルベキモノヲ保留サセテ、後ニ處分シタラドウカト云フ御說デゴザイマス、其ノ點ハ課稅上ノ技術トシテ、マダソコマデハ考ヘテ居リマセヌガ、御說ハ能ク分リマスノデ、調査ノ上研究致シタイト思ヒマス

○朴委員 此ノ問題ハ此ノ前モ鑛業法改正法律案ノ時、大藏大臣ニ隨申上ゲタ積リデアリマス、唯利得稅ヲ納メナイト云フヤウナ考ヘデ言フノデハアリマセヌ、公債消化ト云フ關係カラ言ヘバ、其ノ方が非常ニ不安ヲ與ヘナイデ、會社ノ任事ガ安全ニシナクチヤナラナイ、人間ガ足ラナイト云フ時ニ、アレデハ二重、三重、四重ノ手續ヲシナケレバ取ルコトガ出來ナイ、ドウモヨリ、極ヌテ簡單ニ日本ノ建前ニ依ツテテ居リマスカラ、此ノ間御尋ネシタ譯デアリマスガ、臨時利得稅ヲ内地ハ二割三分、外地ハ二割課ケテ居リマス、一方產金獎勵ニ對シテハ、三億万圓ト云フ厖大ナル豫算ヲ出シテ國策會社ヲ作ツテ獎勵ヲシテ居ル石炭ノ如キモ其ノ通りデアリマスガ、金銀、鉛ハ殊ニ今日ノ我國デハ非常ニ不足シテ居ル、斯ウ云ツタヤウナ危險ヲ持ツテ居ル鑛業ニ對シテ臨時利得稅ヲ二割モ取ルト云フコトハ、ドウ考ヘモ自分等ハ惡稅ト思フ、片ツ方デハ獎勵シテ置イテ、片ツ方デハ頭力ヲ押ヘル、是ハ決シテ臨時利得稅ヲ納メナイト云フノデハアリマセヌ、例ヘバ百万圓、二百万圓、三萬圓ト云フヤウナ會社ハ、政府カラ增產命令ガ來タ時ニハ、無理シテデモ坑内ニアルモノヲ出シテシマフ、出スト其ノ年ハ黒字デアツテ、其ノ黒字ニ對シ忽チ赤字トナル、大キナ會社ハ甲カラ乙、乙カラ丙ト補ツテ行キマスケレドモ、百万、二百万、三萬圓ト云フヤウナ小サイ會社ハ、ソレヲ補ツテ行クコトガ出來ナイ爲ニ、結局休山シタリ、或ハ株ガ暴落スルコトガ多イト私共ハ思フノデアリマス、是等ニ對シテハ臨時利得稅ト云フヤウナコトデナク二十割ノ基準ヲ設ケ、ソレマデハ稅金ヲ取 ragazziニ、二十割以上アツタ場合ニハ、之ニ全部公債ヲ持タシテヤル、其ノ公債ハ政府ガ出来ルシ、又ソレニ依ツテ株主ヘノ言譯モ出來ルシ、又ソレニ依ツテ金融モ出來ル、斯

ス、私ノ大藏大臣ニ御尋ネスルコトハ是ダ
ケデアリマス
○松田委員長 今ノハ別ニ答辯ハ要リマセ
ヌカ

○朴委員 要リマセヌ
○松田委員長 星君トドウゾ簡明ニ御願
ヒ致シマス
○星委員 要點ダケ申上ゲマス、我が日本
ノ圓ト北支ノ圓ト法幣、此ノ三ツノ關係ハ、
日本ガ非常ニ不利ナ地位ニアルヤウニ思
ヒマス、日本ハ支那ヲ浮カサウト云フノニ、
貨幣ノ上カラ言フト、日本ノ貨幣ガ支那ノ
法幣ト一緒ニ沈ミツツアルヤウニ思ヒマス、
之ヲ是正スル妙案ガ考ヘラレテ居ルデセウ
カ、或ル人ハ米「ドル」ヲ目安ニシテ物價ヲ
定メルヨリ外ニ途ガナイト言フ者モアリマ
ルガ宜カラウト云フ人ガアリマスケレドモ、
ソシナコトモシタクナイノデ、何カ爲替ニ
付テ大藏省ガ考ヘテ居ラレナイノデアリ
セウカ

○河田國務大臣 圓ト支那ノ通貨トノ關係
ハ、唯支那ノ通貨ト日本ノ圓トダケト、簡
單ニ申上ゲラレナイト思フノデアリマス、
北支ニ於テ聯銀券ト圓トハ「ペー」デ「リン
ク」シテ居リマスガ、中支ノ方ハ必ズシモ
サウ行ツテ居リマセヌ、軍票ト圓トハ同價
ニナツテ居リマシテ、是ハヤハリ爲替相場
ガ立ツテ居リマス、中支ノ方ハ支那通貨タ
ル法幣ガ下落スル爲ニ、之ニ引摺ラレテ圓
ガ下落スルト云フ御話デアリマスケレドモ、
之ヲ「ドル」トカ何トカ云フ第三國ノ貨幣ニ
依ツテ爲替相場ヲ立テルト云フコトハ、私
ハ贊成致シマセヌ、現ニ中支ニ於テ圓ト同

價值ヲ有スル軍票ト法幣トハ、ヤハリ爲替
相場ガ立ツテ居ルノデアリマシテ、是ハヤ
ハリ直接關係デ行クノガ宜イト思ヒマス、
我國ノ圓ノ關係ハ帝國ノ關係デアリマス
ガ、支那ノ通貨ノ問題ハ、南京政府ノ支配
ノ下ニアル最近出來マシタ中央儲備銀行ガ、
重大ナル使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
中央儲備銀行ヲ設立シ、新貨幣ヲ發行セシ
メテ、即應的ニ中支那方面ヲ之ニ依ツテ統
制シヨウシテ居リマス、其ノ工作ニ付キ
マシテハ、帝國政府ハ飽クマデ南京政府ノ
行キ方ヲ援助シテ居ル次第ナノデアリマシ
テ、ソレ以外ニ此ノ場合出來ルダケ政府ノ
力ヲ以テ支那ニ於ケル通貨ノ問題ヲ援助シ、
更ニ南京政府ノ方針ヲ援助シテヤルト云フ
コトガ、今日執ツテ居ル方針デモアリマス、
圓ダケヲドウスルカト云フコトハ、私ハ言
ハヌ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、北
支ノ聯銀ニ付テモ亦同様デアリマス
○星委員 現今「ドル」ヲ標準ニデモシナケ
レバ損ダト云フ狀態ニアルヤウデス、之ヲ
是正サレルヤウニ御願ヒシタインデス、現
今個人主義、自由主義、資本主義ノ是正ガ
言ハレテ居リマス、是ハ主トシテ形而上ト
言ヒマスカ、精神的ニ言ハレテ居ツテ、形
而下ト言ヒマスカ、物質的ニハドウモ自由
主義、資本主義ガ行ハレテ居ルヤウニ思ハ
セウカ

ス、日本軍ノ進ム所ニハ、日本ノ物産ガ伴
ツテ行クト云フコトデナケレバ意味ハナサ
ヌシ、新東亞ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
我國ノ圓ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
ガ、支那ノ通貨ノ問題ハ、南京政府ノ支配
ノ下ニアル最近出來マシタ中央儲備銀行ガ、
重大ナル使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス
ガ、支那ノ通貨ノ問題ハ、南京政府ノ支配
ノ下ニアル最近出來マシタ中央儲備銀行ガ、
中央儲備銀行ヲ設立シ、新貨幣ヲ發行セシ
メテ、即應的ニ中支那方面ヲ之ニ依ツテ統
制シヨウシテ居リマス、其ノ工作ニ付キ
マシテハ、帝國政府ハ飽クマデ南京政府ノ
行キ方ヲ援助シテ居ル次第ナノデアリマシ
テ、ソレ以外ニ此ノ場合出來ルダケ政府ノ
力ヲ以テ支那ニ於ケル通貨ノ問題ヲ援助シ、
更ニ南京政府ノ方針ヲ援助シテヤルト云フ
コトガ、今日執ツテ居ル方針デモアリマス、
圓ダケヲドウスルカト云フコトハ、私ハ言
ハヌ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、北
支ノ聯銀ニ付テモ亦同様デアリマス
○星委員 現今「ドル」ヲ標準ニデモシナケ
レバ損ダト云フ狀態ニアルヤウデス、之ヲ
是正サレルヤウニ御願ヒシタインデス、現
今個人主義、自由主義、資本主義ノ是正ガ
言ハレテ居リマス、是ハ主トシテ形而上ト
言ヒマスカ、精神的ニ言ハレテ居ツテ、形
而下ト言ヒマスカ、物質的ニハドウモ自由
主義、資本主義ガ行ハレテ居ルヤウニ思ハ
セウカ

ス、日本軍ノ進ム所ニハ、日本ノ物産ガ伴
ツテ行クト云フコトデナケレバ意味ハナサ
ヌシ、新東亞ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
我國ノ圓ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
ガ、支那ノ通貨ノ問題ハ、南京政府ノ支配
ノ下ニアル最近出來マシタ中央儲備銀行ガ、
中央儲備銀行ヲ設立シ、新貨幣ヲ發行セシ
メテ、即應的ニ中支那方面ヲ之ニ依ツテ統
制シヨウシテ居リマス、其ノ工作ニ付キ
マシテハ、帝國政府ハ飽クマデ南京政府ノ
行キ方ヲ援助シテ居ル次第ナノデアリマシ
テ、ソレ以外ニ此ノ場合出來ルダケ政府ノ
力ヲ以テ支那ニ於ケル通貨ノ問題ヲ援助シ、
更ニ南京政府ノ方針ヲ援助シテヤルト云フ
コトガ、今日執ツテ居ル方針デモアリマス、
圓ダケヲドウスルカト云フコトハ、私ハ言
ハヌ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、北
支ノ聯銀ニ付テモ亦同様デアリマス
○星委員 現今「ドル」ヲ標準ニデモシナケ
レバ損ダト云フ狀態ニアルヤウデス、之ヲ
是正サレルヤウニ御願ヒシタインデス、現
今個人主義、自由主義、資本主義ノ是正ガ
言ハレテ居リマス、是ハ主トシテ形而上ト
言ヒマスカ、精神的ニ言ハレテ居ツテ、形
而下ト言ヒマスカ、物質的ニハドウモ自由
主義、資本主義ガ行ハレテ居ルヤウニ思ハ
セウカ

ス、日本軍ノ進ム所ニハ、日本ノ物産ガ伴
ツテ行クト云フコトデナケレバ意味ハナサ
ヌシ、新東亞ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
我國ノ圓ノ秩序ハ出來ヌト思ヒマス、
ガ、支那ノ通貨ノ問題ハ、南京政府ノ支配
ノ下ニアル最近出來マシタ中央儲備銀行ガ、
中央儲備銀行ヲ設立シ、新貨幣ヲ發行セシ
メテ、即應的ニ中支那方面ヲ之ニ依ツテ統
制シヨウシテ居リマス、其ノ工作ニ付キ
マシテハ、帝國政府ハ飽クマデ南京政府ノ
行キ方ヲ援助シテ居ル次第ナノデアリマシ
テ、ソレ以外ニ此ノ場合出來ルダケ政府ノ
力ヲ以テ支那ニ於ケル通貨ノ問題ヲ援助シ、
更ニ南京政府ノ方針ヲ援助シテヤルト云フ
コトガ、今日執ツテ居ル方針デモアリマス、
圓ダケヲドウスルカト云フコトハ、私ハ言
ハヌ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、北
支ノ聯銀ニ付テモ亦同様デアリマス
○星委員 現今「ドル」ヲ標準ニデモシナケ
レバ損ダト云フ狀態ニアルヤウデス、之ヲ
是正サレルヤウニ御願ヒシタインデス、現
今個人主義、自由主義、資本主義ノ是正ガ
言ハレテ居リマス、是ハ主トシテ形而上ト
言ヒマスカ、精神的ニ言ハレテ居ツテ、形
而下ト言ヒマスカ、物質的ニハドウモ自由
主義、資本主義ガ行ハレテ居ルヤウニ思ハ
セウカ

マシタ、滿洲國ノ中央銀行ノ出來夕時モ銀貨本位デアリマシテ、當時銀貨本位ニハ非常ニ共鳴ヲシテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ金貨本位ニ直シマシタ、併シ今東亞ノ新秩序ヲ建設シヨウト云フ大キナ經濟的活動ノ指導者ニナツテ居ル此ノ時ニ、私ハ日本銀行ヲ此ノ際銀貨本位ニスルト云フコトガ必要ヂヤナイカト確信シマス、サウシテ「インド」

「イラン」カラ、「エジプト」マデ行クコトニ、
「エジプト」マデハドウカ知ラヌガ「インド」邊リハ銀ヲ好ミマスカラ、アノ邊マデハ皆銀貨ヲ流通セルト云フコトニシテコソ、本當ニ新東亞ノ秩序、新秩序中ノ經濟的、新秩序、經濟的人間生活ノ秩序ヲ立テルコトガ出來ルト思ヒマス、ダカラ私ハサウアリタイト思ヒマス、大藏大臣ハ日本銀行ヲ銀本位ニスルコトヲ御考ヘナラレタコトガアリマスカ、或ハナラナイデモ、是カラ研究シテ見ヨウト云フコトノ御考ヘガアルカ

○河田國務大臣 金貨本位、銀貨本位ノ問題ハ、學究ノ研究トシテハ面白い問題デゴザイマセウ、殊ニ滿洲ヤ「インド」支那ガ金貨本位ガ宜イカ、銀貨本位ガ宜イカト云フ

コトハ、學者ノ御議論モザイマセウ
(委員長退席、宇賀委員長代理着席)
併シナガラ比較的從來沿革上、歴史上、或ハ銀貨ヲ好ミマシタ共榮圈ノ經濟的獨立ヲト云フコトノ爲ニ、私ハ日本銀行券ヲ銀貨本位ニ直スト云フ考ヘハ毛頭ゴザイマセヌ、是ハ餘程御考ヘアルカモ知レマセヌガ、色々ノ學者ノ說ハアルカモ知レマセヌガ、今日ノ場合比較的新シク發達シテ參リマシタ此ノ沿革、比較的新シト申シマシテモ、數十年ニ亘ツテ發達シテ參リマシタ帝國ノ中

央銀行ノ金貨本位ヲ、今日又銀貨本位ニスルト云フヤウナコトハ是ハ非常ニ困難ヲ來ス、否、帝國バカリデハアリマセヌ、滿洲中央銀行ニ致シマシテモ、之ヲ銀貨本位ニ今ヨリ改メルト云フコトハ、是ハ却テ問題ヲ刺戟致シマシテ、實行シナ一方ガ宜イト思テ居リマス、帝國日本銀行ハ金貨本位デアソテモ、其ノ銀ヲ好ム國民ノ多數存スル所ノ國ノ經濟的指導者トシテ、立チマスニハ、私ハ一向差支ヘナイト思ツテ居リマス○星委員「アメリカ」ガ支那ノ銀ヲ買ヒマシテ、支那ノ銀貨ヲ取りマシタ、英國モ取リマシタ、英國モ「アメリカ」モ若シカ日本ガ支那ト一緒ニナツテ銀貨本位ヲヤラレタナラバ、自分等ガ立ツテ行ケヌカラ、支那ノ銀ヲ巻キ上げテ金本位ニシタト私ハ思フノデアリマス、日本ガ支那事變デ金ノ爲ニ苦シニシテ居ルコトハ、茲ニ關係ガアルト思ヒマス、彼等ハ日本ヲ苦シメルノニ、支那ヲ先ヅ金貨本位ニシテ置カウトシタノデアツタト見ルベキデアル、若シ支那ノアノ貨幣制度改革ノ時ニ日本ガ賛成シナクテ、之ヲ銀貨本位ニシテ置キ、又滿洲國モ銀貨本位ニシテ居ツタナラバ、私ハ今日ハ餘程違ツタト思ヒマス、日本ニハ金貨本位ヲ非常ニ良イモノトシテ居ルノデアリマスガ、嘗テ「アメリカ」デハ御承知ノ如ク大統領候補者「ライアン」ガ銀貨本位ヲ主張シタ位デアリマシテ、今尙ホ「アメリカ」中部邊リハ銀貨ヲ希望スルモノモアルノデアリマス、是ハ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌ、今吾々ハ此ノ「ゴーレード」ノ爲ニ英米ニ依存シテ、英米ニ引摺ラレテ居ルコトヲ覺リ、本當ノ新東亞ノ秩序建設ニハ銀貨本位ニス

ト云フヤウナコトハ是ハ非常ニ困難ヲ來スルト私ハ確信シテ居リマス、滿洲國ノ銀貨本位ヲ金貨本位ト直シタ云フコトハ、大ナル失敗デアリマス、其ノ爲ニドレダケ苦シヨリ改メルト云フコトヲ、是ハ却テ問題ヲ刺戟致シマシテ、實行シナ一方ガ宜イト思テ居リマス、帝國日本銀行ハ金貨本位デアソテモ、其ノ銀ヲ好ム國民ノ多數存スル所ノ國ノ經濟的指導者トシテ、立チマスニハ、私ハ一向差支ヘナイト思ツテ居リマス○世耕委員私ハ簡單ニ大藏大臣ニ二、三御尋ネ致シタイト思ヒマス、鞏固ナル財政ハ健全ナル國民經濟ノ上ニシテ建設シ得テアルモノナルガ故ニ、財政政策ニ相並ンデ國民經濟ノ振興ヲ圖ルコトガ必要デアルト云フコトヲ「ドイツ」ノ大藏大臣ガ言明サレテ居ルノデアリマス、吾々ハ此ノ言ニ對シテ滿幅ノ支持ヲシタイト思フノデアリマスガ、遺憾ナガラ事變下ノ日本ノ財政經濟ト云フモノハ、果シテ此ノ定義ニ當嵌マルカドウカト云フコトニ疑問ヲ三擧ゲテ御参考ニ供シタイト思ヒマスガ、戴キマシタ資料ニ依リマスト、通貨ノ方面カラ見マシテ昭和十二年ノ十二月ニハ二十三億五百万圓ノ通貨發行高デアリマス、ソレガ流通高デアリマスガ、ソレカラ昭和十五年ノ十二月ノ統計ニ依ルト、四十七億七千七百万圓トナツテ居リマス、増加シテ居ルコトハ只今申上ゲタリマスノ通リデアリマス、又銀行預金、貯金ヲ總計致シマシタモノヲ、十二年、十五年ニ分ケマスト、十二年末、百八十億、十五年末ガ三百五十九億ト云フ數字ニナツテ居リマス、是ハ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌ、是ハ餘程御考ヘニナラナケレバナラヌ、

アリマス、昭和十二年ノ十二月ノ指數ヲ見マスト、株價ノ指數ハ一二六・五ニナツテ居リマス、十四年ノ十一月ガ一三六・七、ソレカラ十五年十二月ガ一一六・一ト云フヤニ實ハ十四年ノ十二月ヨリモ十五年末ハ大幅ナ低落ヲ致シテ居ルノミナラズ、十二年ノ十二月ノ指數ヨリモ更ニ低落シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマス、此ノ點が非常ニ今後公債消化ノ上ニ於テモ重大ナ問題ガアルノデハナイカト云フコトヲ憂フル一人デアリマス、株價ノ實質以下ノ下落ト云フコトハ生産擴充、資金調達ノ上ニ非常ナ支障ヲ生ズルデアラウト云フコトハ論ズルマデモナイコトデアリマス、株價ノ下落ハ生産力ノ減退ト物資ノ不足ヲ招來セシムルコトハ勿論デアリマスガ、此ノ株價ノ維持ニ付テ何カ御名案ガオアリニナルカ、色々之ニ付テハ議論ガアルヤウデアリマス、例ヘバ株價ノ最高價格、最低價格ヲ決定シロト云フ専門家ノ意見モアルヤウデアリマスガ、此ノ點ニ付テ私ハ寧ロ株價ノ最低、最高價格ト云フモノヲ一應考ヘテ見ル必要ガアルデハナイカト思フノデスガ、此ノ點ニ付テ御所說ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河田國務大臣 株價ノ維持ガ生產ノ擴充、資金ノ調達ニ深キ關係ガアルト云フコトハ御説ノ通リダト思ヒマス、唯此ノ株價ト云フモノマスト、比較的華々シイ建株等ヲ餘程織込ンデ參ルノデアリマシテ、取引所ニ於ケル「コーンショウ」ニ現ハレル所ノモノハ總テ投機的トハ申シマセヌケレドモ、株ノ價格ノ上天下云フコトニ付テハ內容ヲ檢討シテ見マレガ非常ニ投機性ノ高イモノ、又標準株

當ノ苦處ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、併シ
株價ノ上下ニ對シテ政府自身方直チニ操作
ニ出ルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ
ト考へマス、出來ルコトナラバヤハリ自主
的ニヤツテ貰ヒタイ、申上ゲルマデモナク
株價ガ維持サレレバ自然ト物資ノ供給モ潤
澤ニナリ、先刻宇賀君カラ御質問ニナリマ
シタ通り、投資シタ所ノ固定資本が眠ラズ
ニ働キ出セバ自ラ生産ガ殖エ、株價モ上ツ
テ參ルノデアリマスカラ、堅實ナル株價ノ
上騰ハ最モ希望スル所デアリマスガ、其處
ニ至ル途中ノ經過方法ト致シマシテハ、既
ニ取引所ト云フモノガアリマシテ、ソコニ
株ノ相場ガ立チマス以上ハ、之ヲ操作スル
所ノ機關ハ有力ニシテ眞面目ナ機關ガ出來
ルト云フコトガ望マシイコト思フノデア
リマス、既ニサウ云フ投資會社ト云フモノ
ガ出來テ居リマスカラ、此ノ際尙ホ一層金
融關係業者等ガ集リマスレバ、相當ナ操
作會社トデモ申スヤウナ會社ガ出來マスカラ
、政府ガ乘出シマスヌデモサウ云フ機關
ガ有力ナ働キヲナスヤウニ、眞面目ナ會社
ヲ創立セントスル機運ガ大變濃クナツテ來
テ、着々進行致シテ居リマスノデ、政府ハ
之ニ對シテ出來ルダケ援助ヲ致シテ居ル次
第デアリマス、但シ最後ニ御話ニナリマシ
タ最高價格、最低價格ト云フコトニ付キマ
シテハ、私モ屢々サウ云フ意見ヲ伺ヒマス
ガ、私洵ニ其ノ方ハ素人デ、其ノ點ニ付テ
ハ果シテ當ツテ居ルヤ否ヤ判断十分致シ
兼ネルノデアリマスガ、只今サウ云フ制度
ヲ直チニ執ツテ宜シイカドウカ、マダサウ
云フ時期デナイノデハナイカ、サウ云フコ
トヲ想像スル人モアリマセウケレドモ、只
今ノ所デハヤハリ最高、最低價格ハ、之ヲ

○世耕委員 大體了承致シマシタ、私ハ株
價ノ維持ト云フコトハ自ラ物價ト關係スル
ダラウト思フ、物價ニ公定價格ヲ付ケル以
上、自ラ株價ノ安定策、或ハ株價公定策ト
云フモノハ、最高額ハ兎モ角、少クトモ最
低額ヲ決定シナイト、政府ガ是カラヤラン
トスル公定價格ト云フモノハ、實行出來ナ
イト思フノデアリマス、殊ニ生産擴充、增
産、日本ノ經濟力ノ強化ト云フ關係ヲズツ
ト繙イテ見マスト、株價維持ニ付テ政府ガ
積極的ニ御出ニナラナケレバ、今後ノ十分
ナル活用ハ私ハ出來ナイモノダ、斯ウ云フ
考ヘラ持ツテ居リマスガ、大臣方其ノ點ニ
付テ御考ヘガ別ナラバ致シ方ゴザイマセ
ヌ、尙ホ一點只今大臣ノ御説明ノ中ニ、株
價ノ問題ニ付テハ、ソレドヽ自治的ナ組織
ヲ以テニ當ル、ソレハ私モ同感デアリマ
スガ、若シ株價ニ付テ自治的ニヤルト云フ
御精神デアルトスルナラ、物價ヲ公定スル
ノガ間違ヒダ、私ハ物價モヤハリ自治的ニ
市場價格ニ依ツテ上下シテ行ク、需給ノ調
節ハ市場ニ依ツテ行クト云フ行キ方デナケ
レバナラヌ、其ノ理論ガ通ラナイデ置イテ、
一方一般物價ハ公定價格ニスル、而モ一般
物價ノ根本ヲナス所ノ株ノ價格ニ於テハ自
治的ニスルト云フコトハ、少シ方針ガ誤ツ
テ居ヤシナイカト云フ風ニ私ハ考ヘル、唯
特ニ御所感ガアレバ承ツテ置キタイト思
ヒマス、株價ノ下落ガ生産資金ニ困窮ヲ來

アリスト云フコトハ、言フマデモナイコトデ
アリマス、例ヘバ自己資金タル増資ニシテモ、
新タニ拂込ヲサセルニシテモ、社債ヲ募ラ
セルニシテモ、金融業者カラ借入スルニシ
テモ、株價下落デハ政府ノ言フ所ノ生産擴
充ノ基礎ガ成立タナイノデアリマス、此ノ
意味カラ實ハ株價維持ヲドウスルカト云フ
コトノ御所感ヲ大臣ニ御尋ネシタヤウナ譯
デアリマス、尙ホ大臣ハ只今ノ御話ノ中デ、
物價指數ト云フモノハ大シテ當ニナラヌ、
極メテ大マカナモノダト云フヤウナ御批評
ガアツタノデアリマス、私モ物價指數ニ付
テハ、全部之ヲ丸呑ミニスル積リハ、ナイン
デアリマス、併シナガラ或ル程度ノ目安ニ
ナルト云フコトハ申上ゲルコトガ出來ル、
尙ホ之ヲ具體的ニ申シマスナラバ、是ハ東
京株式取引所ノ調査機關ノ昭和十五年一月
現在ノ調査ニ依リマスト、全國ノ株式時價
總額ハ四百七億圓トナツテ居リマス、ソレガ
昭和十五年ノ十月現在ハ、三百五十二億圓ニ
下ツテ居ル、約五十五億圓ノ値下リデアル、
其ノ爲ニ投資業者ニ融通シテ居ル所ノ多ク
ノ金融業者ガ、ドウ云フ苦況ニ立ツタカト
云フコトハ、細カク申上ゲルマデモナイトレ
思フノデアリマス、影響スル所甚大デアル
コトハ言フマデモナインデアリマスガ、其
ノ下落ノ原因ハ何處ニアルカト申シマスレ
バ、世間傳フル如ク會社利益配當制限令ノ
強化、新體制ノ全貌不明ト云フコトガ大キナ
原因デアツタ、斯ウ云フ風ニ斷定シテ居ルノ
デアリマス、ソコデ私ハ斯ウ云フ極メテ神經
質ナ、極メナ微妙ナ動キヲナス財界ニ對スル
政府ノ態度ガ、是マデ餘りニ大膽デハナカツ
タト云フ懸念ヲ實ハ去リ得ナイノデアリマス、
ダカラ斯ウ云フ點ニ對シテ大藏大臣ハドウ

云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、實ハ先程内務大臣ニモ他ノ席デ御尋ネ致シマシタノデスガ、經濟新體制ト云フコトヲ盛ンニ唱ヘラレテ居リマスガ、經濟新體制トハドウ云フ意味カ、或ル一部ノ者ニ言ハセルト、財産ヲ皆分ケテ貰ヘルノダ、土地モ分ケテ貰ヘルノダ、労働者ハ資本家ニ成ルノダ、事實サウ云フヤウナコトヲ言ヒ廻ツテ居ル者ガアルノデス、サウ云フコトガ經濟界ニ影響ヲ及ボスコトハ言フマデモナイコトニアリマスガ、ソレニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスガ、所謂經濟新體制ト云フモノハドウ云フコトカ、ソレヲ伺ヒタイ、内務大臣ノ御答辯デハ、經濟新體制ト云フコトハ、即チ經濟ノ合理化ト解釋シテ宜シイカト云フコトヲ御尋ネ致シマシタラ、サウダト云フ御話デアリマシタ、大藏大臣ハ此ノ點ニ付テドウ云フ御考ヘヲ御持チニナルカ、此ノ際承ツテ置キタイト思フノデアリマスニ抽象的ニ申シマスレバ、私モ内務大臣ト同様ニ、經濟體制ノ合理化デアルト固ク信じテ居リマス、經濟ノ體制ト云フモノハ、何時マデモ同ジ狀態ニアルモノデハナクテ、其ノ時勢ニ應ジテ變化ヲ來スコトハ、無論ノコトデアリマスカラ、今日ノ時勢ニ最モ適合スルヤウニ合理化スルト云フ意味ナノデアリマス、然ルニ奇矯ナル言辭ヲ弄シテ世間ヲ迷ハスヤウナ者ノアリマスコトハ、政府致シマシテ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマス、此ノ經濟新體制ナルモノハ、合理的ナ利益ノ追求、資本ノ運用ヲナスコトガ、必要デアルト云フ考カラ起ツテ居ルノデアリマシテ、決シテ世間ノ一部ニ傳ヘラレテ居ルヤウナ奇矯ナ考ヘヌ、政府ハ少シモ持ツテ居ナイト云

マコトヲ、繰返シ／＼ハツキリ申上ガテ置キ
マス、サウ云フ奇矯ナ言ガ株界ニ相當影響シ
タコトト思ヒマス、ソレカラ配當制限令ノ強
化ト云フコトハ、世間ニハサウ云フ言葉ヲ使
フ人ガアリマスケレドモ、私ノ氣持トシテ
ハ、強化ト言フヨリモ合理化ト言ヒタイ、是
ハ私凡ユル席上ニ於テ常ニサウ云フコトヲ
申上ガテ居ルノデアリマスガ、會社經理統
制令ガ出來マシテ、其ノ際ニ整理統合致シ
マシタ所ノ利益配當制限令モ、アノ中ニ併
合サレタノデアリマス、其ノ時ニ多少修正
ヲ加ヘタノデアリマスガ、其ノ修正ハ寧ロ
私ノ考へデハ相當合理化致シタ積リデ、其
ノ點ハ確ニ私ハ改良サレタト確信致シテ居
リマス、萬一世間ニサウ云フ者ヘガアリマ
スナラバ、ソレハ凡ユル機會ニ於テ私ハ說
明致シテ參ツテ居リマス、今日モサウ信ジ
テ居ル次第アリマス

創意尊重ト云フコトハ、抽象的ニ創意ヲ尊
重スルト云フコトハ、是ハ誰モ異議ガゴザ
イマセヌ、十分尊重致ス積リデゴザイマス、
唯屢々議論ニ出マスノハ、今日ノ會社經理
統制令ノヤウナコトヲヤラレテハ、企業家ノ
ガ喜ンデ創意ヲ發揚出來ナイデヤナイカ
マアノ、此ノ程度デト云フ風ニ、企業家ノ
創意ヲ挫クデヤナイカト云フ所ニ、重點ヲ
置イテ論ゼラレテ居ルモノデアリマス、併
シソコハ少シ意見ノ相違ニナリマスガ、私
ハ一方政府ハ資金ノ供給ナリ、物資ノ供給
ナリ——其ノ結果ニ付テ官僚獨善ダト云フ
ヤウナ御批評ハ受ケマスルガ、精神ハ十分
公平ニ、又重點主義ニ依ツテ適當ニ按配供
給ヲスルコトニ於テ、相當苦心ヲ致シテ居
リマシテ、罷リ間違ヘバ國ノ負擔、即チ國
民ニ負擔ガ歸セラレルト云フコトマデ悟惜シ
テ、下世話ニ申ス世話ヲ致シテ居ルノデア
リマス、サウ云フ場合ニ於テ、今日實行致
シテ居リマス程度ノ會社ニ對スル經理監督
ト云フコトハ、是ハ適當ダト固ク信ジテ居
ルノデアリマス、先刻申上げマシタヤウニ
寧ロ過去二年間ノ配當制限ノヤリ方ヨリハ
合理化セラレテ居ルシ、又賞與其ノ他ノ株
主ニアラザル從業員ニ對スル利益ノ分配ニ
付テモ、合理化ヲ致シタ積リデアリマス、
此ノ程度ノ制限ヲ加ヘテ、ソレデ企業家ノ
創意ヲ萎靡サセルトハ私ハ存ジマセヌ、今
日ノ場合此ノ程度ノ私共ガ執ツテ居リマス
ル運用ノ方針ニ依ツテ、企業ニ從事シテ居
ル人々ガ、其ノ創意ヲ挫カレルト云フヤウ
ナコトハナイト思ツテ居リマス、能ク昔カ
ラ申ス例デスガ、租稅ノ如キモ餘リ重クナ
レバ産業等ガ萎靡スル、サウ云フコトモゴ
ザイマセウ、今日我國ノ租稅等モ相當ニ

重ノ如ニテアリマス、洵ニ國民ニ對シテ氣ノ
毒千萬デアリマス、ダカラト言ツテ、一文
モ儲ケズ情ケテ遊ンデ居ヨウト云フヤウナ
所マデハ行ツテナイト思フ、此ノ程度ノ經
理ノ監督ヲシテ、詰ラナイカラト仕事ヲ休ン
デ收入ヲ減ラシテ居ヨウト云フコトハ、私
ハナイト信ジテ居ル次第デアリマス
○世耕季員 利潤ト配當ト云フコトヲ往々
ニシテ誤解シテ、色々ナ話題ヲ残シテ居リマ
スガ、御承知ノ通リ「ドイツ」ノ例ヲ見テモ、
利潤ノ點ニ於テハ「ドイツ」ハ寧ロ自由デス、
會社ニ依ツテハ六十割、七十割位ノ利潤ヲ認
メテ居ル、唯配當制限ニ於テハ六分ト云フ
ヤウニ限定サレテ居ル、此ノ點ニ付テノ御
見解ハ如何デアリマスカ
○河田國務大臣 「ドイツ」ノ政策ノコトニ
付キマシテ、私甚ダ暗クゴザイマスケレ
ドモ、サウ云フコトヲ屢々承リマス、「ドイ
ツ」ノヤリ方ハ多分利潤ニ對シテハ無制限ニ
シテ、之ニ對シテ重稅デヤル、斯ウ云フヤ
リ方ニ承ツテ居リマス、併シ我ガ國ノ場合
ニハ國情モ違ヒマスノデ、サウ云フコトデ行
クヨリハ、ヤハリ利潤ニ於テモ適正ノ利潤
ヲ興ヘテ、其ノ中ノ配當モ亦適正ニスル、利
潤ヲ適正ニ致セバ、其ノ代リ稅ノ方ハ入ラ
スト云フコトニナル、國ノ立場カラ言ヒマ
スト、ソレガ國ヲ相手ノ仕事デアル場合
ニハ、利益ヲ無制限ニシテ置イテモ、租稅
デ、全部取上ゲテシマヘバ宜イ譯カト思ヒ
マス、「ドイツ」ニ於テハ「クルップ」ノヤ
ウナ國營工場、ソレ自身ガ國立カドウカ分
ラヌヤウナモノノ多イ所ト聞イテ居リマス
ガ、今度ハ民間ノ註文ヲ受ケテ仕事ヲスル
場合、民間ノ註文者ノ立場カラ云ヘバ、ヤ
ハリ利潤ヲ統制シテ置イタ方ガ宜イノデハ

ナイカ、問題ハドチラガ其ノ國情ニ適スルカ、我ガ國ノヤウナ國情ニ於テハ、利潤ヲ無制限ニシテ租税デ全部取上ゲルト云フ適正ニ導クト云フ方ガ當ツテ居ルト政府ハ思ツテ居リマスノデ、此ノ方法ヲ執ツテ居ル次第アリマス

○世耕委員 利潤ト配當ノ見解ニ付テハ、大體諒承致シマシタガ、利潤ノ點ニ付テ尙ホ分リニクイ點ガアルノデアリマス、私ハ適正利潤ハモウ當然ノコトデアリマスガ、利潤ハ寧ロ制限スペキモノデハナイ、利潤ガアツテ始メテ創意ガ現ハレテ來ル、其ノ創意ガ產業ノ改良ニナリ、改革ニナリ、合理化ニナツテ、低物價政策ニ合流シ得ルモノト思フ、ソレヲ一方制限シテシマフト、物資ノ増産モ、生産力ノ擴充モ、利潤ヲ抑ヘタガ爲ニ活動出來ヌ大キナ原因ニナツテ會社ニ對シテハ、寧ロ積立金ヲ強制シテ會社ノ内容ヲ良クサセル、會社ノ内容ヲ改良シテ、生産人ヲシテ優良品ヲ安價ニ販賣セシムル競争ヲセシムテ國家民人ヲ益スル、此ノ方針ニ對シテハ全ク疑フ餘地ガナイ、私ハ此ノ點ニ付テ少シ大臣ト意見ガ違フヤウニ思ヒマス、或ハ同一カモ分リマセヌガ、私ハ止メテ置キマス、尙ほ最後ニ二點ダケ簡單ニ御尋ネ致シマスガ、政府ノ投資或ハ配當補償ノ諸企業ガ概シテ成績不良ズス、是モ前ノ質問ニ掛ツテ來ル問題デアリマスガ、

斯ウ云フ關係ニ付テ、昨年モ資料ヲ要求致シマシタガ得ラズ、本年モ要求シテマダ止メラレテ居ルグラウカ、又政府ノ監督ガ、斯ウ云フヤウナ政府投資或ハ配當補償ノ諸企業會社ニ對シテ、ドウ云フ監督ヲナシテ居ルカ、斯ウ云フ點ヲ伺ツテ置キタ、イト思フノデアリマス。

○河田國務大臣 政府補償或ハ配當補償ヲ致シテ居ル會社ト申シマスト、民間ノ普通ノ會社以上ニ政府ノ保護ヲ受ケル會社ト云フコトニナル、政府ノ保護ヲ受ケタル會社ガ、成績ガ比較的惡イト云フコトハ、甚ダレ、政府ト致シマシテモ遺憾千萬ノコトデ、之ニ對シテ色々非難ヲ伺フト云フコトハ遺憾千萬デアリマスガ、是ハ世間ニ屢々論ゼラレル原因ハ、先刻モ御話ノゴザイマシタヤウナ、企業者ノ創意ニ缺クル所ガアツテ、懷ニ手ヲシテ居テモ配當ガ出來ル、金ハ政府ノ方デ作ツテ吳レルトカ云フヤウナ、人ニ依存スルヤウナ頭カラ出テ來ルト云フヤウニ屢々傳ヘラレ、續イテハ、一體サウ云フ所ニ天降リデ素人ノ役人ナドヲ多ク入レルカライケナイト云フヤウナコトモ屢耳ニ致スノデアリマス、サウ云フコトモアルカモ知レマセヌ、サウ云フコトノ關スル限りニシマシテモ、政府ノ趣旨ニ副ハナイヤウナ於テハ、飽クマデ其ノ局ニ當ル者ヲ鞭撻致役員ガアリマスルナラバ、ドシ／＼解職セシメテ行クニ少シモ吝カデナイ、初メハ適當ナリト見テモソソンナ結果ニナルコトハ、

政府ノ眼鏡達ヒデアリマスカラ、ソレハ遠慮ナク處分シテ行キタイト思ヒマス、政府ハソレニ付テ十分覺悟ヲ持ツテ居リマス、併シ世間ノ批評ノ的ニナルヤウナ會社、批評ノ的ニナルヤウナ當務者ヲ、決シテ辯護スル譯デハナイノデアリマスガ、一方カラ見マスルト、政府ガ多ク社債ヲ保有スルトカ、或ハ配當ヲ保證スルト云フヤウナ會社ハ、業態ソレ自身ニ於テ餘程經營ニ困難ナ所ガアルト云フ所カラ、抑、出發シテ居ルノデアラウト思ヒマス、十分發展シ得ル素質ヲ持チ、或ハ發展シ得ル事業デアルナラバ、政府ガ特別ノ保護ヲスル必要ハナイノデハナイカ、之ニ政府ガ特別ノ保護ヲ與ヘルト云フノハ、抑、經營ニ困難ガ存スルト云フ所ニ其ノ元ガアルト思ハナケレバナラヌ、一方ソレニモ拘ラズ政府ガ之ニ特別ノ保護ヲ與ヘマデ、其ノ事業ヲ經營サセルト云フコトハ、國家ノ大キナ目カラ見テ最モ必要ナラバコソ致スノデ、隨ヒマシテソレハ何レモ多ク創立後年月ヲ餘リ經ザルモノト見ナケレバナリマセヌ、經營ソレ自體ニ於テ相當ノ困難ガアリ、而モ出發後年月ヲ餘リ經ナイ創業ノ際ニアルト云フコトデアレバ、直チニソコニ非常ナ優秀ナル成績ヲ擧ゲルコトヲ期待スルトイカト思ヒマス、先刻ノ宇賀君ノ御質問トモ關聯スルノデアリマスガ、然ルニサウ云フヤウナ會社ニ對スル資金ナリ物資ナリノ供給ハ重點主義、重點主義ト言ヒナガラモ、甚ダ是ガ忸怩タラザルヲ得ナイト云フヤウナコトハ、蓋シ其ノ趣旨ガ十分徹底シ得ナイヤウナ點モアルノデゴザイマス、ソンナ

コトデ當初ノ出發當時カラ見マスルト、思
ニ任セヌト云フヤウナ點モアリ勝チダツ
タト思ヒマス、御趣旨ハ十分承リマシテ、
當務者ニ對シマシハ十分鞭撻、監督ヲ致シ
マスルト同時ニ、又能ク其ノ事情ヲ調査致
サナケレバナラヌ點モアラウト思ヒマスノ
デ、事情ヲ調査致シマシテ、全ク當務者ニ
缺陷ガアルナラバ、政府ハ之ニ對シテ相當
ノ態度ヲ執ルニ少シモ吝カナラヌコトヲ御
承知願ヒタイト思ビマス

ラレタ、政府がヤツテ行カナケレバ巧クヤ
レナイノダト云フノニハ、是ハ當ラヌト思
フ、寧ロ政府ガ餘計ナコトヲヤツタモノダ
カラ行詰ツテシマツタ、會社モ行詰リ、業
者モ行詰ツテ、國民ハ其ノ爲ニ非常ニ惱ンデ
居ルト云フコトガアル、是ハ政府ガ企業計
畫ヲナサル當初ニ、少シ見透シガ足ラナイ
ノデハナイカト云フコトヲ實ハ申上ゲタイ
ノデス、ソレハ例ハ幾ラデモアリマス、政
府ガ配當保證ヲシナケレバナラヌ會社ハズ
ラツトアル、私ハソレ等ヲ細カクハ申シマ
セヌガ、ドウゾサウ云フ場合ニ監督ヲ嚴重ニ
スルバカリデナシニ、サウ云フ會社ノ設立
ニ際シテハ、大藏省ガ一つ根本的ニ御調査
ヲ願フト云フコトニシテ戴キタイノデアリ
マス、尙ホ最後ニ一點御聽キ致シタイコト
ハ、政府ノ投資、或ハ官營專賣事業ト云フ
ヤウナモノハ、民營トシテ發達不能ノ場合
ニノミ限定スルノダト云フ 意味ノ御説明
ガアリマシタカラ、私ハ其ノ點ニ付テ敬意
ヲ表シマスガ、將來政府ノ持株其ノ他ヲ民
間ニ拂下ゲル考へハナイカ、又是ハ一面公
債支辨ノ額ノ減少トモナリ、又公債消化ノ
便法トモナルノデアルガ、此ノ點何カ御考
ヘニナツテ居ルコトハナイカト云フコトヲ
承ツテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

又、サウ云フ時代モゴザイマシタガ、時勢ノ變遷ニ依リマシテ、サウ云フコトヲ餘り固執スル理由ハナイト、私ノ氣持ハサウデゴザイマスガ、今具體的ニ是レ～ノ會社ノ持株ハ民間ニ解放シテモ宜シトイ云フ、具體的ノ案ハ持ツテ居リマセヌ、唯私ノ氣持ハ前段申上ゲタ次第アリマス
○松田委員長 朴君カラ先程ノ問題ニ關聯シタ質問ガ残ツテ居ツタト云フ申出ガアリマスカラ、之ヲ許シマス——朴君
○朴委員 私ハ朝鮮銀行ノ發行シテ居ラレル紙幣ハ、内地ノ紙幣ト同様ニシテ貴ヒタイト思フ、是ハ前カラ屢々私大藏大臣ニ要求シテ居リマシタガ、未ダ是ガ實現シテ居ナイノデアリマス、御承知ノ通り併合當時ハ、アレハ半島人ノ金融機關トシテ、朝鮮銀行ニ紙幣ヲ發行サセルコトトシノデハナイカト思ヒマス、大藏大臣御承知ノ通り併合シテ三十有餘年經ツテ居リマスカラ、此ノ際同一國內ニ於テ此ノ朝鮮銀行デ發行シテ居ラレル朝鮮ノ札ハ、内地ニ通用ガ出來ナシテ云フコトハ如何ニ不便デアルカ、ソレカラ又内地ニ通用ガ出來ナイモノヲ他ノ國——アレハ満洲國トカ、支那トカデ通用出来ル、是ハ吾々精神的ニ非常ニ苦痛デアリ、思想的ニ大キナ影響ガアルト私共ハ思フノデアリマスガ、高橋大藏大臣當時ニ、私ハ數年經ツテモヤハリ今日マデ其ノ儘ニナツ此ノ問題ヲ申上ガ夕所ガ、高橋大藏大臣ハ、朴君ノ期待スルヤウニ政府モ考ヘテ居ルト云フヤウナ答辯ガアツクレドモ、モウ十二與ヘテ居ルシ、又大キナ國家的見地カラ言ツテモ、アレハ内地ト同一ニスベキモノ連絡ヲ往復シテ居ルニ對シテ非常ナ不便ヲ與ヘテ居ルシ、又大キナ國家的見地カラ

○河田國務大臣　朴君ノ御話ノヤウナコト
ハ屢々話題ニ上リ考究致サレテ居リマス、
大體、御承知ノ通リ第一銀行ガ朝鮮銀行ニ
ナツタ沿革、今日半島ト内地トノ經濟狀態
ノ變化等カラ見マシテモ、傾向トシテハ段
段サウ向ツテ行クノデヤナイカト思ヒマス、
獨り兌換券ノ問題ノミナラズ東京ニ於ケル
日本銀行——朝鮮銀行ハズツト其ノ後ニ出
來マシタニシマシテモ、時々綻ビヲ縫フ程
度ノ改正ハ致シマシタケレドモ、既ニ大分
法制モ古クナツテ來テ居リマスノデ、或ハ
今日ノ時勢ニ合ハナイ點モ多々アラウカト
思ヒマスカラ、斯ウ云フ特殊金融機關ニ對
スル法制ニ付キマシテハ今折角考究中ナノ
デゴザイマス、相當大キイ問題デゴザイマ
スカラ慌シクシナイ方ガ宜イト思ツテ居ル
ノデアリマス、今一ソニ手ヲ附ケマスト、
時的ノモノハ提出致シマシタケレドモ、全
各種ノ特殊金融機關ニ影響ヲ來シマスノデ、
本議會ニモ勸業銀行法中改正法律案、免
換銀行券條令ニ關スル改正法律案ノ如キ一
般ニ瓦ルモノハ提出致シマセヌデシタ、近
キ將來ニ全般的ニ連絡ヲスルヤウナ改正ヲ
致シタイト思ツテ居リマスノデ、何カノ機
會ニサウ云フコトニモ及ブカモ知レナイト
又釜山ト下關間ニ於テ、今日デモ或ハ酒稅
トカ織物稅トカ云ツテ、一年間ニ約四十萬
圓位取ルノデヤナイカト思フノデアリマス
ガ、斯ウ云ツタモノノ爲ニ半島ト内地トノ
間ニ色々ナ思想的ノ影響ト云フモノハアル
ト思ヒマスガ、此ノ際内外地ヲ通ジテ日本
銀行ノ紙幣ヲ統一スル大藏大臣ノ意思ガア
ルカドウカ伺ツテ置キタイ

○朴委員 ソレハ是非ヤツテ貰ヒタイト思
ヒマス、ト云フノハ御存ジノ通り釜山カラ
下關ニ出帆スル連絡船ノ待合セ時間ハ僅方
ナモノデス、汽車ガ着イテ三十分カ四十分
位ノ間シカナイ、其ノ間ニ一列ニ竝ンデ札
ヲ交換シナクテハナラヌ、是ハ外國人カラ
見テモドウモ同一ノ國內トハ見ラレナイ、
是ハ非常ナ不便ヲ與ヘ、内地人モ之ニ對シ
テ隨分不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、今
大藏大臣ノ仰シヤルヤウニ大キナ問題デア
リマス、併シ急ニハ行カナイト仰セラレテ
居リマスガ、アレハ思ヒ切ツテヤツテ戴キ
タイ、私共ハ一億一心ト同ジヤウニ、内外地
ノ總ノ機關ニ付テ先ヅヤラナケレバナラ
ヌト思フ、ソレハ又非常ニ影響スルモノモ
アリマセウ、内鮮人ヲ強チ一家ニシナクテ
ハナラヌト云フヤウナモノデハナクテ、其
ノ中ニハ又區別スペキモノモアリマスガ、
斯フ云フ問題ハドウシテモ一括シナクテハ
ナラヌ、是ハ精神的ニ吾々ノ氣持其ノモノノ
ヲ一心ニスルニハ丁度宜イノデハナイカト
思ヒマスカラ、其ノコトヲ特ニ研究シテ現
大藏大臣時代ニヤツテ貰ヒタイト思フノデ
アリマス

Digitized by srujanika@gmail.com

ゼサウ云フコトヲ申上ゲルカト云フト、熟練工ガ最近相當歸農スル傾向ニアルコトガ其ノ一つヲ物語ツテ居ルト思ヒマス、モウ一ツハ工場等、殊ニ炭礦地帶及ビ金屬地帶ノ鑛山ニ勞働力ノ補給ガ中々不圓滑ニナツ、テ居ルト云フコトノ原因ハ、ヤハリ農村ノ利潤ガ他ノ重要產業ト比較シテ見テ上廻ツテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、農村利潤ト云フモノニモ私ハ二ツアルト思フノデス、一ツハヤハリ土地ヲ資本トシテノ利潤ト、モウ一ツハ農產物ノ利潤ト見方ガニツアル、農產物ノ中デ米ハ生產費ヲ割ツテ居ルト云フコトガ大分喧シク言ハレテ居リマス、其ノ他ノ農產物ハ相當ノ利潤ヲ擧ゲ得ラレル狀態ニアルノデハナイカ、斯ウ云フ點ニ付テ、今日マデ農林省ガ主ニ農產物價ヲ取扱ツテ居ルノデアリマスガ、公債消化ト其ノ他ノ重要物資ノ補給ト、茲ニ大藏省ガ背負ツテ居ラレマス所ノ豫算ノ十分ナル活用カラ見マスレバ、是ハ相當農產物價ニ付テモ大藏省ガ注意ヲ致サレナケレバ、豫定ノ生產物ヲ得ラレナイ結果ニナルノデハナカラウカ、特ニ注意スベキハ勞働力ノ減少ヲ來シ、又生產原價ノ昂騰デ豫定ノ軍需品ガ得ラレナイ結果ニナリハセスカト云フコトヲ心配スルノデアリマスガ、之ニ對スル大藏當局ノ御答辯ヲ煩ハシタイ

餘り良クナイト云フコトヲ屢伺ヒマス、
其ノ他ノ果實トカ、或ハ都會地ノ近郊ノ野
菜等ハ非常ニ利益ガアルト云フヤウニ申サ
レマスケレドモ、ソレハ他ノ產業ノ從事員
ニ比較致シマシテ、ソンナニ良イノデアル
カト云フト、サウデモナイデハナイカト思
ヒマス、又一方殷賑產業ノ工場等ニ勞力ヲ
取ラレル爲ニ、農村ノ勞力ガ不足シテ困ル
ト云フコトモ承ツテ居リマスノデ、各地ノ
事情ニ依リマシテ強チサウバカリモ言ヘナ
イヂヤナイカト存ジテ居リマス

○川俣委員 ソレデ大體大藏大臣ノ考へ方
ガ分ツタノデスケレドモ、私ハ現在ノ状態
ヲ見マシテ、恐ラク今日考へテ居ラレマス
豫算ニ盛ラレマシタ所ノモノヲ生産サレル
ニハ、現在ノヤウナ勞働力ヲ以テシテハ不
可能デハナカラウカト憂ヘテ居ル、而モ熟
練工ガ減少スルヤウナ傾向ヲ現實ニ見ナケ
レバナラヌ、サウ云フモノト、農產物價ト
ヲ考ヘ合ハセナケレバナラヌノデハナカラ
ウカト私ハ思ヒマス、農產物價其ノモノカ
ラ言ツテ、生産費ヲ割ツテ居ルカドウカト
云フ議論ヨリモ、勞務ノ管理ノ状態カラ見
テ、勞働力ヲ何レノ方面ニ流スカト云フコ
トガ重點デナケレバナラヌ、唯米ガ生産費
ヲ割ツテ居ルカラ米ヲ上ゲタラドウダト云
フコトニナリマスレバ——サウ云フ空氣ガ
非常ニ強イノデアリマスケレドモ、サウ云
フコトニナリマスレバ、ソレハ一圓ヤ二圓
上ゲテドレダケノ増産ガ出來ルカ分リマセ
スケレドモ、若シ米ヲ相當ナ値段ニ上ゲタ
ナラバ、恐ラク石炭ハアナタ方ノ想像シテ
居ラレルヤウナ結果ノ何割カノ減少ヲ來ス
コトハ明瞭ダト思フノデアリマス、今日資
材ガ不足デアリマシテ、石炭ノ増産ハ恐ラ

ク労働力ヲ得ルヨリ外ニ方法ハナイ、鐵ガ結局石炭ノヤウナモノハ労働力ヲ以テ掘ルヨリ外方法ハナイ、鐵ニシテモサウデアル、ソレヲ米ガ足ラナイカラト云フコトデ米ノ値ヲ上ガルト云フコトハ、米グケ考ヘルナラバ問題ハナイガ、今何ガ必要デアルカト云フコトヲ重點ニ考ヘテ、其ノ労働力ノ按配ヲ考ヘナイデ、唯米ダ、イヤ何ダト云フコトヲ密カニ疑ツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ意味カラ、私ハ農村物價ト云フモノハ、上廻ツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、御話申上ゲテ居ルノデアリマス、若シ私ノ言フコトガ、見解ガ違ツテ居ルトスレバ、不安ノナイコトニナリマスノデアリマスカドウカ、モウ一度其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス○河田國務大臣　御質問ノ意味ヲ初メニ少シ取違ヘマシタ、ソレハ私ハ一々ソレ等ノ事情ニ精通シテ居ル譯デハゴザイマセヌケレドモ、先づ農村ニ於ケル勞力ガ足リナイト云フ懇ヘモゴザイマスシ、一方殷賑産業ニ於ケル工場ノ労働力ガ足リナイト云フ懇ヘモゴザイマス、總テノ點ニ於テ種々ナル懇ヘモゴザイマスルガ、其ノ點ニ付キマシテハ、厚生當局其ノ他ト十分連絡ヲ取リマシテ、軍部當局ニ於キマシテモ、萬遺憾ナイヤウニ連絡ヲ執ツテヤツテ居ルコトト思ヒマスガ、實例カラ申シマスルト、厚生當局ナドニ於テ、軍需工業ニ於テ非常ニ勞力ガ足リナイカラ、是非コチラニ供給スルヤウニト云フコトデ、笛ヤ太鼓ト言フト滑稽ニ聞エマスガ、隨分極端ニ職工ノ募集ヲサレル

テ居ル所モゴザイマス、ソレカト云ウテ、一方軍需工場ノ方デハ、是非勞力ヲ供給シテ吳レト言フ、又炭礦ニ於テモ同様、鐵鑛ニ於テモ同様ナノデアリマス、ソレ等ノ點ハ各當局ガ密接ナル連絡ヲ執ツテ、適當ナル接配ヲスル外方法ハナイト考ヘマスノデ、今御話ノ通り、成程農村ノ方ニ勞力ガ割ガ良クナレバ——割ガ良クナルト云フ意味ハ、他ノ殷賑工業ト比較致シマシテ、尙ホ農村ノ方ガ利益ガアルカラ、ソチラへ歸農スルト云フコトニナリマシテハ、是ハ洵ニ困ツタモノデゴザイマスガ、サリトテ又食糧ガナクナツテモ、是亦困ツタモノナノデアリマシテ、斯ウ云フ時代ニ於キマシテハ、一ツノ所ニ資金モ資材モ勞力モ唯自由ニ流レテ、利益ヲ追ウテ自由ニ流レルト云フコトデナシニ、勞力モ亦同様ニ相當ノ統制ヲシテ行カナケレバナラヌカト思ヒマス、其ノヤリ方ニ依リマシテハ資金資材以上ニ、尤モ勞力ノ統制ヲ過チマシテハ一大事ヲ生ズルト思ヒマスケレドモ、是ハ極力各關係當局ニ於テ連絡ヲ執リマシテ、過チナキヤウニ致ス外致シ方ナイカト思ツテ居リマス○川俣委員モウ少シ端的ニ申上ゲマスガ、二ツダケ端的ニ申上ゲタイト思ヒマス、私農村ノ利潤ガ上廻ツテ居ルト云フノデ、土地、資本ノ利潤ガ上廻ツテ居ルト云フ點ヲ、露骨ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、片方ハモ、農村ニ於ケル宅地ト田地、或ハ畠地ト商工省トノ共管デアルト思ヒマス、宅地ノ方ハ御承知ノヤウニ、賣買價格ノ四分二厘デ抑ヘテ居ル、所ガ同ジ宅地ト言ヒマシテ、ツテ居ル宅地ノ方ハ賣買價格、而モ登記價格デ四分二厘デ抑ヘテ居ルケレドモ、家ノ

建ツテ居ナイ田地トカ畑地トカ云フモノハ、
是ハモウ幾ラ取ツテモ構ハナイノデス、是
ハ平均四分二厘デ――詳シク言ヘバ別デス
ケレドモ、唯概算ヲヤツノデスケレドモ、
宅地ノ方ハ四分二厘デ抑ヘテ居ル、所ガ田
ヤ畑ノ方ハ其ノ儘放任サレテ居ル、家ガ建
ツテ居レバ四分二厘デ抑ヘテ居ル、田ヤ畑
ノ方ハ其ノ儘放任サレテ居ル、私ハ茲ニ農
村ノ利潤ニ付テ、アナタ方ノ考ヘト農林省
トノ考ヘトガ、總テノ物價ノ上ニ一致シテ
居ナイノデハナイカト云フ點ヲ御尋ネシテ

付デモサウデス、最近何處カラカ知ラヌケレドモ、米ノ値上ガ出来サウデアルトカ、出来ナササウデアルトカ云フコトノ空氣ガ、農林省ヲ中心ニシテ世間ヘ出テ居ルト云フヤウナ傾ニナツテ參リマシテ、斯ウ云フコトニ付テハ、相當大藏省アタリモ御考ヘニナラナケレバ、ナラヌノデハナカラウカ、私ハ決シテ上ゲルコトガ反對デアルトカ、反對デナイトカ云フコトヲ言フノデハナイ、サウ云フコトハ單ニ農林省ダケガ、サウ云フ點ニ好意ヲ持テバ、農林省が勤マルノデ、外ノ方ハサウ云フコトニ關係ガナインダ、所

フモノハ、一方ハ抑ヘラレテ一方ハ抑ヘラレヌ、茲ニ私ハ公債消化ノ上ニ於キマシテモ、是ガ全部トハ申シマセヌケレドモ、農村ノ公債消化ノ惡い點ハ、私共地方ニ見テ居リマスト、公債ヲ買フヨリ土地ニ投資シタ方ガ利廻ガ宜イト云フノデ、現ニ聞イテ居リマスガ、マダサウ云フ傾向ハ地方ニ決シテナイト云フ譯デハナイ、價格ヲ抑ヘラレタノデ、幾分違ツテ來ルカモ知ヒマセヌガ、是ハ價格ヲ抑ヘラレタノデ、利廻ヲ抑ヘラレタノデハナイ、利廻ノ點ハ別問題、サウ云フ點デ農林省ノ考へ方デナイ方ガ必要デ

居ラレル、其ノ結果ドウ云フ仕事ヲサレタカト云フト、私ハ露骨ニ申上ゲマスケレドモ、日本產金會社ノ失敗ノ原因ヘ何處ニアツタクト言ヘバ、是ハ金屬鑛山ニ金ヲ貸シタノデハナイ、丁度銀行屋サンノヤウナ投資デ、山ガ惡クテモ、本人ノ資産狀態ガ良クテ、保證人ニ資産ガアレバ、ソレニ貸シテ居ル、山ガ良クテモ、資産狀態ガ惡ケレバ貸シテ居ナイ、今日產金會社ノ資金ガ焦ヶ付イテオ困リノヤウデゴザイマスガ、是ハ銀行ノヤルヤウニ整理スレバ——恐ラク貸付ケタ人間ハ相當ノ資産ヲ持ツテ居ラレルシ、資

○済田國務大臣 農耕地ニ付キマシテハ
農地價格統制令ヲ此ノ間制定シテ發布シタ
筈デアリマス、成程是ハ價格ニ於テハ統制
致シテ居リマスガ、利廻ニ於テハ、私其ノ
方ハ専門デアリマセヌカラ、ハツキリ記憶
シテ居リマセヌ、抑ヘテ居ナカツタカモ知
レナイ、然ルニ宅地ノ方ハ利廻ハ統制シテ
居リマシテ、價格ニ付テハ九。一八以後ノ賣
買實例アルモノニ付テハ制限シテ居リマス
ガ、數年來賣買實例ノナイモノニ付テハ制
限シテナイ、然ルニ農地——田畠ノ方ハ、
ソレヨリ一定利潤ヲ付ケテ統制シテ居ル、
其ノ點ハ必ズシモ一致シテ居リマセヌ、併
シナガラ豫々農耕地等ガ價格ガ上ツテ、ズ
ンズン田畠ヲ潰ス人ガ出來ルト云フノヲ惧
レテ、其ノ方ハ抑ヘテ居リマスノデ、農耕
地ニ付キマシテモ、或ル程度ノ統制ハ先日
加ハツタ筈ト承知シテ居リマス

○川俣委員 私ノ質問へ、一致シテ居ナイカ
ラ惡イトカ何トカ云フノデハナクシテ、一
致シテ居ナケレバ、アナタ方ノ計畫ニモ翻
鬱ヲ來サナイカト云フ點ヲ主ニシテ御尋ネ
致シタノデアリマシテ、例ヘバ米ノ問題ニ

レバ、總テノ官廳ノ計畫ト云フモノガ、計畫通り履行出來ナイ結果ニナルノデハナカラウカト云フ點デ、モウ一應大臣ノ御考慮ヲ求メル意味デ御答辯ヲ願ヒタイ○河田國務大臣 川俣君ノ御心配ハ、決シテサウ云フコトハゴザイマセヌ、詳シイコトハ私記憶シテ居リマセヌ點モゴザイマスケレドモ、サウ云フ問題ニ付テハ密接ナル連絡ヲ執ツテ、政策ノ不一致ニナラヌコトヲ、是ハ申上ゲルマデモナク十分努メテ居ル積リデゴザイマスカラ、ドウゾ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川俣委員 ソレデ大體諒承致シマシタガ、モウ一ツ關聯シテ先刻ノ宅地ノ問題デスガ、宅地ノ方ハ早ク抑ヘラレタカラ、宅地ノ騰貴ト云フモノハ止ツタ、所謂土地ノ値上リト云フモノハ、四分二厘デ地代ヲ抑ヘラレタ爲ニ、值上リガ止ツテ居ル、宅地ト續イテ居ル方ノ田畠ト云フモノハ、放任サレタカラ上ツタ、上ツテ餘り開キガ出來タカラト云ツテ今抑ヘラレタ、抑ヘラレタコトハ決シテ惡クナイケレドモ、其ノ間ト云

ハソレデ結構ダト思ヒマス、第一ノ點ハ、
先程カラ議論ニナツテ居ル所ノ國策會社ノ
點ナンデス、私ハ國策會社ノ點ニ付テハ、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデス、國策會社
ノ成績ノ舉ラナイノハ何處ニアルカ、色々
原因モアルデセウガ、私共ノ知ツテ居ル限
リニ於テハ、色々ノ社長ナリ或ハ責任者ガ
全體ヲ統一スル力ガナイ所ニ、ハツキリ成
績ガ舉ラナイ原因ガアルノデハナイカ、或
ル國策會社ガ出來ルト、關係方面カラ各種
各様ニ入ツテ來テ、オ互ニ監督スルノカ、
ドウ云フ意味デ入ラレルノカ知リマセヌケ
レドモ、各重役ノ地位ニ就イテオ互ヲ監督
シ牽制スル、寧ロ仕事ニ掣肘ヲ加ヘルト云
フヤウナ傾向ガアツテ、仕事ノ能率ヲ低下
サセテ居ルト云フコトガ、私ハ大キナ原因デ
ハナカラウカト考ヘテ居ル、殊ニ大藏省ニ
關係ノ深イ所ノ日本產金振興會社ノ成績ノ
不良デアツタ原因ハ、恐ラク私ハ此ノ點ニ
アツタト思フ、而モ大藏省ハ大キナ產金事業
デアルカラ、大藏省ニ關係ガ深イト云フコト
デ、大藏省ノ關係方面カラモ重役ニ入ツテ

産業貸借ニ入レテ居ルヤウナニトニラツテ
居リマスカラ、銀行ガ會社ヲ整理スルヤウ
ナコトニスレバ金ガ取レマズ、所ガサウ云
フ譯ニ行カナイ、山ヲ見テ貸シタノデハナ
イ、技術的デナイ、何ノ値打モナイ資產ニ
貸シテ居ル、山ノ所有者、鑛業權者ノ資產
ニ貸シテ居ルノデアリマスカラ、鑛山デ取
ツタツテ何等ノ意味ハナイト云フヤウナ結
果ニナツテ居ル、產金會社ノ失敗ハソコダ
ト思フ、是ハ大藏省關係カラ入ツタ人、個人
ヲ責メル意味ハナイ、各省カラ人ガ入ツテ、
商工省ノ關係カラ入ツタ人ハ、山ヲ見テ貸
セ、大藏省ノ關係ノ人ハ、山ヲ見テ貸シタ
ツテ危イカラ、資產狀態ガ良クナケレバ貸
シテハナラヌト云フヤウナコトデ、金融方
面ヲ扱ツテ居ル者ハ大藏省ノ關係ダト思フ
ガ、片方ノ調査ノ方ノ關係ト、金融ノ關係
ト、何時モ喧嘩シテ居ル、日本產金會社ト
云フモノハ、金融ト技術者ノ間デ喧嘩シテ
居ルト云フコトガ世間へ傳ハツテ居ル、サ
ウ云フ風ナ不統一ガ、日本產金會社ノ成績
ノ舉ラナカツタ大キナ原因デアルト思フ、今
度社長ヲ迭ヘラレマシテ、今度ノ社長ハ相當

手腕ノアル人デアリマスカラ、成績ガ擧ル
カモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ方々カラ
重役ヲ入レテ置イテ、誰ニ統一サセテ、仕
事ヲサセルト云フヤウナ目標ガナカツタ、
各方面カラ重役ヲ入レテ置イテ、オ互ニ重
役ヲ牽制シ合ヒ、監督シ合ヒ、旨イ言葉デ
言ヘバ監督シ合フ、惡イ言葉デ言ヘバ牽制
シ合フ、モツト惡イ言葉デ言ヘバ排撃シ合
フト云フヤウナコトガ、私ハ此ノ成績ガ不
良ダツタ原因デハナカラウカト考ヘテ居リ
マスケレドモ、之ニ對ズル大臣ノ御見解ヲ
承リタイ

○河田國務大臣 産金會社ノ具體的事例ニ
付テ申上ゲルコトハ、私ハ詳シニコトヲ存
ジマセヌカラ致シマセヌガ、今川侯君ノ言
ハレタヤウナコトガ原因デ、特殊會社ノ不
成績ダツタト云フコトモアツタカモ知レマ
セヌ、併シ是ハ先刻申上ゲマシタ通り、凡
ユル方面カラ、成程技術者ハ技術者ノ方面
ヲ以テ、一圖ニ其ノ主張ヲ致ス、ソコガ又
買ヒ所デモアリ、一方ハ又經理ノ眼ヲ以テ
見ル重役モ居リマセウ、社長トカ總裁トカ
其ノ上ニ立ツテ行ク人ハ、十分其ノ兩者ノ
主張ナリ意見ナリヲ採入レテ、裁斷ヲ加ヘ
テ、之ヲ統轄シテ行クト云フダケノ手腕、
力量、德望ガナケレバナラス人デアルベキ
ナノデ、其ノ人ノ缺點カラサウ云フコトガ
起ツタコトモ、ソレハアルカモ知レマセ
ヌ、サウ云フ場合ニハ、氣ノ毒ナガラ他ノ人
ニ代ツテ貰フヨリ外仕方ガナイト思ヒマスシ、
シタインデスガ、日本ノ礦業開発ニ關スル
國策會社ガ今三ツアル譯デス、一つハ帝國
○川俣委員 ソコデモウ一點簡單ニ御尋ネ

鑛業開發、一ツハ日本產金振興、モウ一ツ
ハ東北振興株式會社ノ鑛業ニ關スルモノ、
此ノ三ツアル譯デス、此ノ三ツガ何レモ同
じ目的ナノデス、殊ニ内地ニ於テハ、御承
知ノ通り本州ニ於キマシテハ、何ト申シマ
シテモ殆ド金銀銅鑛ヲ含ンデ居リマシテ、
是ハ鑛業開發デヤリマシテモ、日本產金デ
ヤリマシテモ、同ジヤウナコトヲ無論致シ
テ居ルノデアリマス、朝鮮ト北海道ハ特殊
ナ產金地帶デアリマスカラ、是ハ別ニ致シ
マシテ、内地ニ於テハ殆ド統一シテシマフ
ベキデハナカラウカ、二ツモ三ツモ置ク必
要ハナカラウ、此ノ技術者ノ不足ナ時ニ、
該三社ガオ互ニ不足ナ人間ヲ動カシテ居ツ
テ不便ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ點カラ見
マシテモ、或ハ資金ノ上カラ見マシテモ、
是ハ統合サルルコトガ必要デハナカラウカ、
之ニ付テ説明スレバ、マダ長クナリマスケ
レドモ、簡單ニ言ヘバ、統合ノ必要ガアル
ノデヤナカラウカトスウ考ヘマスガ、之ニ
對スル大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○川俣委員 モウ一點、先程世耕君ノ質問ニ對スル當局ノ御答辯ノ中ニ、經濟新體制トハ經濟ノ合理化デアリ、改良ヲスルコトダ、斯ウ云フ風ニ御答辯ニナツテ居リマス、私ハ別ニ言葉ヲ責メル譯デハアリマセヌガ、私は經濟ノ新體制ト云フモノハ、能ク分リマセヌケレドモ、從業員ニハ出來ナイノデハナインデハ十分ナ説明ガ出來ナイノデハナイカトニ思フ、是ハ業者ニハ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、從業員ニハ出來ナイノデハナインカ、御承知ノ通り今度ハ勞働手帳ガ出マシテ、幸カ不幸カ會社ニ勤メテ從業員ニナルト、中々自由ガ束縛サレルノデアリマス、是ハ私ハ當然ダト思ヒマス、斯ウ云フ時局ニ於キマシテ、自由意思デサウアチラコチラヘ好條件ヲ求メテ轉々シテ歩クコトノイカスト云フコトハ此ノ際時局ノ上カラ、日本ノ生産品ノ「コスト」ヲ引下ゲル上カラ、是ハ當然トハ思ヒマスルガ、勞働者ノ勞働賃金ヲ釘付ケニシテ置キ、工場ニ釘付ケニシテ置イテ、改良トカ合理化ト云フヤウナ言葉ハ、是ハ當嵌ラナイデヤナイカ、斯ウ思ヒマス、恐ラク產業ノ合理化ト云フ中ニハ總デノ勞働力モ入ル、會社ヘ釘付ケニシテ置キ、賃金ヲ釘付ケニシテ置クノガ合理化デアル、改良デアル斯ウ言フコトハ私ハ當嵌マラナイノデヤナイカト思フノデス、ヤハリ產業ノ新體制ト云フヤウナモノハ、單ナル改良トカ合理化ダケデハ、十分言ヒ表ハセナインデハナカラウカト考ヘマスガ、其ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

謳ツテ居リマス通り、資本、經營、勞務ノ綜合的統合ト云フコトガ趣旨ニナツテ居リマス、勞務モ無論入リマス、勞務ノ中ニハ勞働モ入りマス、是ハ御説ノ通りデアリマス、之ヲ合理化改良ト先刻申上ゲマシタノハ、經濟產業ノ經營ニ當リマシテ、今日ノ時世ニ即應シテ合理化セシメ改良スルト、斯ウ申上ゲマシタノデ、ソレハ客觀的ナ意味デアリマス、或ハ或ル點ニ於テ賃金ノ釘付ケラヌレバ、利不利ト言ヘバ、勞働者ニハドウモ不利カモ知レマセヌガ、產業全體トシテハ是ハ合理化改良ト、斯ウ私ハ思ア次第デアリマス、單ニ其ノ賃金ガ殖エタカラ改良ト、斯ウ云フ意味デハナシニ申上ゲタ積リデアリマス

○川俣委員 所ガ業者ノ人ノ合理化トカ改良トカ云フ考ヘ方ハ、大臣ノ考ヘ方ト違ツタ意味ニ於テノ合理化デアリ、改良デアルト云フコトデ、恐ラク大臣ノ御意見ニ賛成シテ居ラレルト思フノデスガ、大臣ノ意見ヲ其ノ儘受容レタ意味ニ於テ、之ニ賛成シテ居ルノデハナカラウト思フ……

○河田國務大臣 ソレハ私ハ現ニ經營ノ重要ナル責任ヲ以テ衝ニ當ツテ居ルヤウナ方ト談話ヲ交シマシタガ、其ノ誤解ハナイト文ジテ居リマス

○松田委員長 中野君

○中野(寅)委員 私ハ經濟ノコトナドハ素人デ分ラナイカラ、大臣ハ正直ニ言ツテ戴キタイ、大臣ハ本職ダカラ、俺ノヤウナ者ヲ胡麻化スコトハアルマイガ、國家ノ爲ニ憂ヘテ質問スルノデアリマス、此ノ事變ガ始マツテ恩給ヲ辭退シタ人ガアリマスカ

○河田國務大臣 私ノ聞キ及ビマス所デハ進ンデ辭退シタト云フ人ハナイト記憶シテ

居リマス、是ハ何ノ機會デアリマシタカ記憶シテ居リマスエヌガ、先刻モ他ノ委員會ニ於テ、恩給ノ性質ニ付テ中野君ニ御話申シタノデアリマスガ、恩給ノ性質、殊ニ帝國ノ恩給ノ性質ハ、非常ニ難カシイモノデアリマシテ、此ノ研究ハ大分古クナリマシタノデ、或ハ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、恩給ハ原理トシテ辭退スルコトハ出來ナイト云フ解釋ニナツテ居リマス、若シ之ヲ受ケルコトヲ屑シトシマセヌケレバ、郵便局ナリ日本銀行ナリニ取リニ行カズ、其ノ儘時效ニ掛ケテ抛棄スルヨリ方法ガナイト云フ結論ヲ、専門家カラ承ハツタヤウナ記憶ガゴザイマス、ソレカラ又恩給權ノ發生以前ニ、恩給權ノ發生シ得ル資格ノアル者デ、或ル年限之ヲ請求致シマセヌト自然消滅シマスガ、其ノ方法ヲ以テ自然恩給權ヲ抛棄ヲシタ例ハ、事變後ニハ聞イタコトハアリマセヌガ、事變前ニ數人ノ實例ヲ私ハ存ジテ居リマス

マスガ、サウ云問題デゴザイマスノデ、
私ハ國務大臣トシテハ凡ユル點ニ責任ハ感
ジマスガ、先刻モ申上ゲマシタ通り、大部
分ガ軍人恩給デアリ、而シテ其ノ大部分ハ
下士以下ノ恩給デアル今日ニ於テ、責任ヲ
以テ恩給法改正ノ意思アリヤ否ヤヲ、此處
デ直接國務大臣トシテノ責任以外ノ所管省
トシテ、直接私ノ所管デナイ問題デゴザイ
マスノデ、其ノ意味ニ於テ改正スル意思ア
リヤ否ヤハ御答ヘ致シ兼ネマス

○中野(寅)委員 此ノ儘行ケバ恩給亡國ニ
ナルト思フ、恩給ヲ取ツテ相當ノ人ノ會社
其ノ他ニ勤メテ居ル人ガ澤山居ル、大臣ノ
コトヲ言ツテハヲカシイガ、大臣ハ大臣ニ
オナリニナル前ニ、東亞海運株式會社ノ會
長トシテ相當ノ俸給ヲ取ツテ居ラレ、其ノ
外ニ恩給モ取ツテ居ラレタ、定メシ退職ノ
時ハ退職手當ヲ會社カラ御貰ヒニナツタニ
相違ナイ、サウ云フ人ト現在ノ農家、中小
商工業者ヲ比べて見ルト、洵ニ不公平デス、
物其ノ平ヲ得ザレバ則チ鳴ル、斯ウ云フ所
カラ上下摩擦ノ原因ヲ發スルノデアルカラ、
私ハ此ノ事變ノ終ルマデハ、高給恩給者ニ
ハ之ヲ與ヘナイコトニシテ停止スル、殊ニ
先刻軍人ノ御話ガアツタガ、軍人デモ下士
官ハ氣ノ毒ダカラ停止スル必要ハナイ、又
文官デモ判任四級以下、即チ九十五圓以下
ハ其ノ必要ハナイガ、判任四級以上、下士
官以上ノ人ニ對シテハ恩給ヲ停止シテ、此
ノ時艱克服ニ當ラナケレバナラヌ、農家ノ
方ハ餘剩蓄積ハ許サヌト云フヤウナ現状ニ
ナツテ、農家ト中小商工業者ニ對シテハ
一ペイノデ暮ラセ、剩マシテハイカヌト
云フ建前デ、今此ノ事變ニ臨ンデ居ルノニ、
獨リ官吏ノミガ高給ノ恩給ヲ取ツテモ構ハ

又ト云フヤウナ理窟ニハ相成ラヌ、此ノ事
變處理中ハ高給恩給者ノ恩給ハ之ヲ停止ス
ル、ソレモ高給恩給者デモ恩給ガナケレバ
生活ニ困ル人ガアリマセウカラ、サウ云フ
人ハ仔細ニ調査シタラ宜イ、殊ニ國策會社
ナドニ行ツテ居ル人ハ、アブク錢ヲ取ツテ
居ルカラ、サウシナイト此ノ事變處理ハ出
來マセヌヨ、私ハ國民精神總動員ノ理事長
ニナツタ人ヲ知ツテ居ルガ、其ノ人ハ高等
官一等ノ恩給モ取ツテ居ツタ、又東京市長
ヲ辭メル時ニ十万圓金ヲ貰ツタ、ソレカラ
國民精神總動員ノ理事長トシテ、毎月多額
ノ俸給ヲ取ツテ居ツタ、其ノ人ガ何ボ地方
へ行ツテベラヽ喋ツテモ效果ノ擧ガルモ
ノデハナイ、其ノ人ニ俺ハ一言意見ヲシテ
ヤリタイ、俺ハ高等官一等ノ恩給モ受取ラ
ナイ、東京市カラ貰ツタ十万圓ノ金モ投出
ス、自分ト家内ト子供ハ國民精神總動員カ
ラ貰フ金ノ半分ダ澤山ダカラ、眞ツ裸ニナ
ツテ禪一ツデ掛カルト言ヘバ、演説ナドシ
ナクテモ、國民ハ皆奮起スルノデアル、其
ノ意味ニ於テ大藏省ハ、進ンデ此ノ事變處
理ノ爲ニ、高給恩給者ノ恩給ヲ停止スル計
畫ヲ、速カニ御立ニナル心ガアルカドウ
カ、一ツ伺ヒマス

○ 松田委員長 ソレハ大藏大臣トシテハ、所管ガ大藏省ダカラ、恩給ノ方ハ所管ガ違フノデアリマス
○ 河田國務大臣 中野君ノ御精神、其ノ位ノ勢ヒヲ國民ニ持ツテ貰フコトニハ、満腔委員會ニ於テ中野君ニ御答ヘ申上ゲタ通り、恩給ノ問題ハ、簡単ニ其ノ意氣込ミ、其ノ氣分、其ノ日、其ノ時ノ氣分ニ断行スルト云フヤウナ、性質ノモノデハナインデアリマス、恩給ハ保險年金ナリヤ、俸給ノ繼續ナリヤ、將又單ニ生活ノ保障ナリヤト云フコトニ付テハ、特ニ我が國ノ恩給制度ニ於テハ、非常ニ複雜ナル問題デアリマシテ、少クトモ私ハ先刻返シテ申上ゲタ通り、今日ニ於テハ恩給年金等ハ七分通リ社會施設デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ制度ノモノデアリマスカラ、單純ニ其ノ氣分、勢ヒヲ以テ、一舉ニ之ヲ如何ニスルト云フヤウナコトハ、相當ノ危険ヲ含ンデ居ルト思ヒマス、ソレカラ只今中野君ノ御主張ニナリマシタヤウナ、高級者ニ付テハ恩給ヲ制限スルト云フ制度ハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、既ニ出來テ居ルノデアリマス、唯其ノ制限デハ足ラナイ、全部ヲ辭退セヨ、斯ウ云フ御趣旨ト思ヒマスガ、ソレハ御尤モノコトト思ヒマス、國務大臣トシテ御返事致シマスノハ只今ノ通りデアリマス、併シナガラ他ニ研究スペキ點ハアルガ、之ニ考究ヲ加ヘ、變更ヲ加ヘル意思アリヤト云フコトニナリマスト、私が如何ニ國務大臣ノ責任ヲ感ジマシテモ、此處デ即座ニ御返事致シ兼ネマス、特ニ其ノ

専門ノ責任者ガアルコトデゴザイマスカラ、之ヲ私ガ唯研究致シマストカ、致シマセヌトカ云フコトハ、國務大臣ダカラト云ツテ、此處デ御返事致スコトハ不穩當ダト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ所管ガ違セマスカラト申上ゲタノデアリマス
○中野(賣)委員 然ラバ此ノ委員會ニ於テ、サウ云フ意見ガ強ク主張サレタト云フコトヲ、國務大臣トシテ他ノ所管大臣ニ諸ツテ貰ヒタイ、ソレカラモウ一つ、金、銀、銅鐵、亞鉛、鉛、石炭等ノ増産ヲ圖ツテ居リマスガ、ソレモヤハリ此ノ金ノ問題ダガ、御料林トカ、大學演習林トカ、要塞地帶ト云フヤウナ所ニハ、相當立派ナモノガ埋藏サレテ居ル、ソレ等モ御料林ナルガ故ニ掘レナイ、大學演習林ナルガ故ニ拒ム、要塞地帶ナルガ故ニ拒ムト云フヤウナコトニナツテ居ルカラ、是ハ金、銀、銅、鐵其ノ他ノ金屬、非金屬ノ增産ガ出來ルヤウニ、政府モ斯ウ云フ所ヘ目ヲ着ケテ戴キタイノデアリマスガ、今マデサウ云フコトヲヤツタ例ガゴザイマスカ、要塞地帶トカ、御料林トカ、大學演習林トカ云フ所ニ於テモ、差支ヘナイ限リハ之ヲ許サナクテハナラヌモノデアル、今國ガ亡ビルカ盛ンニナルカト云フ境ニ、御料林ダカラ此處ヲ掘ツテハイケナイ、大學演習林ダカライケナイト云フコトデハ困ル、ソレヲ計畫サレタコトガアリマスカ、伺ヒマス
○河田國務大臣 大學演習林、御料林等ノ特殊ノ地域ニ對シマシテモ、地下埋藏物ノ鑛物ハ國家ノ所有デアル、是ハ燧才鑛業法デアツタカト思ヒマスガ、地下埋藏物ノ發掘ト云フコトハ法制上許サレテ居テ、現ニソレヲヤツテ居ルモノト私ハ記憶致シマス

○中野(寅)委員 ソレハヤツテ居ル所モニ
三ハアルケレドモ、多クハ皆拒ンデ居ル、
國ガ亡ビルカドウカト云フ境目ノ際、ソレ
ヲ大イニ解放シテ貴ヒタイ、其ノ場所ヲア
ナタニ言ヒマスガ、隨分良イノガアリマス
○河田國務大臣 サウ云フ御趣旨ナラ分リ
マシタ、御料林ト云フコトニナリマスト、
宮内省關係ニナリマスガ演習林ノ如キハ、
政府ノ一部ノ文部省ノ大學ノ所管デアリマ
スカラ、能ク商工省トモ相談ワシ、尙ホ督
勵致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シマス
○中野(寅)委員 是デ宜シウゴザイマス
○松田委員長 高畠君

モ、尙ホ儲ケデアリマスカラ、サウ云フ事業ニ對シテハ宜ノデアリマスガ、事業ノ性質上利益ト損失トガ極メテ不確實デ、動モスレバ隔年毎ニ相反シタ結果ヲ生ズル、例ヘバ昨年ハ百万圓儲ケタガ、本年ハ百万圓損シタ、或ハ八十万圓儲ケタガ、翌年ハ七十万圓損シタ云フヤウナ性質ノモノガ、殷賑産業デナイ平和産業ノ中ノ或ル種類ニハアルノデアリマス、例ヘバ生絲製造業ナドハ、今後ハドウナルカ、根本的ニ體制ガ變ルヤウデアリマスガ、是マデハ貿易市場ノ影響ヲ受ケテ、或ハ非常ナ利益ヲ得、或ハ非常ナ損失ヲ招イテ居ル、所ガ個人ノ利得税ノ課税カラ申シマスト、昭和十年、十一年、十二年ノ三箇年ノ利得ヨリ、或程度以上ニ超過シタモノハ、皆利得税ノ課セラレルノデアリマス、然ルニ其ノ三箇年ハ、生憎利益ノ極メテ少イ年ニ屬シテ居ツタガ爲ニ、少シデモ利益ガアレバ、殆ドドノ年度モ利得税ノ課セラレルヤウナコトニ事實ハナルノデアリマス、ソレガ只今申シマシタヤウニ、利益ト損失ヲ繰返シテ居リマスルト、利益ヲ得タ時ノ利益ノ大部分ハ利得税トシテ取ラレ、損失ノ時ハ全然損失ナノデスカラ、事業ノ資金關係ニモ著シク困難ヲ感ジマス、結局儲ケノナイ方ガ事業ガ行ヒ宜イ、儲ケガアツタ年ハ、百万圓儲ケレバ七十万圓税金ヲ取ラレル、其ノ翌年百万圓損スレバ、百万圓ノ損デアルカラ、結局他ノ事情ハ別シテモ、其ノ七十万圓ダケハ補ヒヤウガナクナルノデアリマス、デスカラサウ云フ性質ヲ帶びテ居ル事業ニ付テカヌト、非常ニ憂フベキ事態ヲ生ジハシナ

イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ於テ昨年ノ税法改正當時ニモ、漁業者ノ如キハ、漁ノ多イ時ト不漁ノ時トノ非常ナ差異ガ生ズルコトヲ豫定シテ、只今ノ如キ一般標準デナク、過去三箇年ノ標準收益ヨリ超過シタモノヲ以テ、利得税ヲ課スルト云フコトニナツテ居ル、サウ云フ風ニ行キマスルカラ、初メテ事業ト收益トノ關係ガ極メテ合理的ニ參リマシテ、喜ンデ利得税ヲ納メルコトガ出來ル譯デアルト思ヒマスガ、同じ漁業ト其ノ關係ヲ同一ニ致シテ居リナガラ、此ノ規定ナキガ故ニ著シク苦痛ヲ感ジテ、寧ロ事業ヲ止メネバナラヌト云フ事態ニ直面シテ居ルヤウナ事情ガ、只今申シマシタ事業以外ニモ、恐ラク御調ニナレバ多々アルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナコトハ最初御考ヘニナツタ當時、或ヘ想到シナカツタコトデハナイカ、利得税ト云フモノハ、大イニ儲ケタ者カラ取ラウト云フコトデ、サウ云フ事柄ガ事實上生ズルト云フコトハ、御考ヘニナツタカモ知レマセヌケレドモ、實施シテ見マスト、現實ニサウ云フ苦痛ヲ事業家ニ嘗メサンテ居ル譯デアリマスカラ、之ニ付テ先刻ノ公債ヲ持タスト云フヤウナコトハ、是ハ税金ヲ納メヌデモ宜イト云フ譯デヤナインデアリマスカラ、ソレトハ違フノデアリマス、現在ハ收益税當時ノ如キ減損更訂ノ方法ガナインデアリマス、一年儲ケテ翌年損ラヌレバ、税金ヲ返シテ貰フ方法ヲ講ジラレネバナラヌモノト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ此ノ點ニ付テ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、御伺ヒシタイト

○河田國務大臣　只今御話ノヤウナ事態ハ、先日モドナタカカラ御質問ガアリマシテ、私能ク呑込メマセヌデシタガ、其ノ後能ク稅務當局カラ説明ヲ聽キマシタ、昨年稅制ヲ改正致シマシテ、又本年改正ト云フコトハ致シタクナイト思ヒマシテ、本年ハ稅制改正ヲ全然致シマセヌデゴザイマスガ、稅制ノ如キハ御承知ノ通り實行シテ見マスルト、只今ノ御話ノヤウニ、漁業トノ關係上不公平ダト云フヤウナコトガ、他ニモ點々トシテアルカモ知レヌト云フコトハ感ジテ居リマスノデ、十分考究シテ相當ノ機會ニ然ルベク處理シタイト思ツテ居リマス

○高畠委員　今一ツ伺ヒタイノハ、金ノ集中運動デアリマス、アレハ大體ニ於テ國民ノ愛國心、義勇奉公ノ心カラ出發致シマシテ、手ニ持ツテ居リマスル各自ノ金ヲ届出ラシ、或ハ届出ラシナクトモ、銀行其ノ他へ提供シテ國家ニ納メルト云フコトハ、極メテ喜ブベキ現象デアルト存ジテ居リマス、其ノ成績モ大體ニ於テ良好ナノデハナイカト想像スルノデアリマス、只今マデノ金集中ノ額ハ、ドレ程ニ達シテ居ルモノデアリマスカ、御差支ガナケレバ承リタイト思ヒマス、若シ御差支ガアリマスルナラバ、私ハ其ノ額ヲ御尋ネスルノガ目的デハナイノデアリマシテ、既ニ民間ニ持ツテ居リマスル金ガ、ドレ位ノ割合デ政府ノ手ニ回収出來タカ、詰リ金集中ト云フコトガ略、完成シタカ、ドウカト云フ程度ヲ御聽キシタイノデアリマスカラ、或ハ「バーセンテージ」ニ依ツテ、從來民間ニアル金ノドレ程ノ割合ニ集リマス、勿論產金會社ノ山カラ出シツツア

ル其ノ金デハアリマセヌ、民間ニ退藏シテ居ル金ノコトデアリマス、尙ホソレニ付キマシテ、金集中運動ノ目的ハ、申スマデモナク正貨準備ヲ充實セシムル所ニアルノデアリマスルカラ、必要ニハ相違ナイノデアリマスルケレドモ、此ノ目的ノ根本義ハ產金増産ニ外ナラヌノデアリマシテ、民間ニアリマスルモノノドノ程度マデヲ、早ク言ヘバ搔集メテ、零細ナモノニマデモ及ブ必要ガアルカドウカト云フ程度問題デアリマス、幸ヒニシテ愛國心ニ富ヌル日本國民ハ喜ンデ獻金ヲシ、又買上ヲ願ツテ居リマシテ、外國ニ見ルガ如キ忌ムベキ事態ガ生ジテ居ラヌコトハ、御同慶ノ至リデアリマスガ、若シ私ノ想像スル如ク、既ニ可ナリノ割合ニ金ノ集中ガ實行サレテ居リマスナラバ、ソレヲトコトンマデ——餘リ零細ナ所マデ追求スルト云フ行キ方ハ、結局是ハ考ヘ方デアリマスルケレドモ、餘リ何モノヲモ窮迫シタ事態ニ置クト云フ觀念ヲ持ヘ過ギハシナイカ、昨年アタリモ蚊帳ノ吊手マデ集メテ納メルヤウナ運動ガアリマシタ、此ノ考ヘ方ハ惡イトモ言ヘマセヌガ、色々規則ニ依ツテ民間ノ持ツテ居ルモノヲ悉ク搔集メテ行クト云フコトヲ實行シテ行クト云フコトハ、寧ロ人心ヲ萎縮セシメルヤウナ意外ナ傾向ヲヨ生シハシナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、金ノ集中運動ト云フモノハ、現在ナサレツツアル方法デ、尙ホ當分御繼續ニナル御考ヘデアリスマカ、或強制買上ヲ行ハレル前提デアルト解シテ居ル者モアルノデアリマス、私ノ考ヘル所ニ

依リマスト、是程ニ金集中ト云フコトガ、寧ロ現代云フ場面ヲ見ズシテ終ルコトガ、人心ノ上ニ却テ好イ影響ヲ齎スノデハナイカト云フコトヲ考ヘマスノデ、此ノ點ニ付テノ大藏大臣ノ御考ヘラ承ツテ置キタイト思ヒマス

○河田國務大臣 先ヅ金集中運動ノ成績致シテ居リマス、割合ハ今一寸出テ居リマセヌサウデアリマスガ、私ノ記憶スル所ニ依リマスト、申告シタモノノ中ノ三分ノ二乃至四分ノ三程度ニ行ツテ居タヤウニ思ツテ居リマスノデ、隨ヒマシテアト残ツテ居ルモノハ、三割位ナモノデヤナイカト思ツテ居リマス、ソコデ今ノ御話ハ、零細ナチノニマデ及ブコトハ、人心ヲ萎縮スルト云フ御話デゴザイマシテ、洵ニ御尤モデゴザイマス、所ガ零細ト云フ意味ハ——トコトシマデト云フ御言葉ガアリマシタガ、トコトンマデ突詰メテ行クト云フコトデナシニ、細カイモノマデ漁ルト云フ御趣旨トスルナラバ、事實ハ中々零細ナモノガ多イノデアリマス、「ピン」トカ、頭ノ飾物トカ、女ノ鎖ノ紐トカ、「ブローチ」トカ云フモノデ玉ノ方ガ値打ガアルノデアツテ、針ノ方ハ値打ノナイモノデアルニ拘ラズ、サウ云フ細カイモノガ塵モ積ツテ山ヲ成スノデアリマシテ、サウ云フ零細ナモノガ實際ハ多イノダサウデアリマス、街頭ノ子女亦國難ヲ憂フト言ヒマスルカ、サウ云フモノノ提出が相當多イノデ、サウ云フモノヲ見マスト、相當零細ナモノガ當初カラ出テ居リマス、唯殘ツテ居リマスノハ親ノ形見デアルトカ、

モノト思ハレマス、併シマダ餘地ガアルカ
モ知レマセヌノデ、此ノ方法ヲ以チマシテ、
少シモ手ハ緩メマセヌデ、一遍出シタカラ
アトハ出サヌト云フヤウナコトニシナイ
デ、必要ノナイモノハ後デ出シテ貰ヒタイ
ト云フヤウニ、集中運動トシテ現行ノ状態
ヲ繼續致シタイト考ヘテ居リマス、最後ノ
御尋ネノ強制運動ト云フコトニ付キマシテ
ハ、御説ノ通リニ法律ハ強制買上が出来ル
ヤウニナツテ居リマスガ、是ハドウカ適用
シナイデ終ラセタイ、終ラスヤウニ運動ヲ
續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス

○河田國務大臣 一番初メノ御質問ノ貯蓄目標ヲ百三十五億ト致シマシタハ、先刻モ申上ゲマシタ通り、本年度ノ實績ガ略、百三十億ニ達スルト云フ見込ミガ立チマシタ、國費モ相當増大致シマシテ、資金ノ撒布モ非常ニ殖エマシタ、其ノ中ノ全部ガ又公債トシテ還元スル譯デハゴザイマセヌガ、前年通リノ實績ニ依リマシテ、相當額ガ還元シテ參ルト云フコトヲ計算ニ入レマスノト、年々五億程度ノ増加ノ發行ハ出來ナインダト云フ實績ニ徵シマシテ、百三十五億程度マデハ貯蓄ガ出來ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ七十五億發行シテ參ル積リデアリマス、如何程ノ發行ヲ致シマスレバ、本年度ノ歳出ニ對シテ支拂ガ出來マスカハ、十五年十二月末ノ現計ニ依リマシテ、略、見込ミヲ立てマスノデ、全部本年度豫算ヲ使ヒ切りマスレバ、全部發行シナケレバナラス、併シ相當ノ繰越モゴザイマスシ、不要モゴザイマスノデ、十八億ノ發行未濟額全部發行致サヌデモ濟ムコトダト考ヘテ居リマス、ソレカラ昭和十五年度末、只今提出致シテ居リマスノヲ除キマシテ、本年度末ノ豫定額ハ百四十四億八千五百万圓、其ノ中既發行額ガ百三十九億圓ト相成ツテ居リマス

スルト申サレマスケレドモ、先づ日銀ノ兌換券發行高ヲ見マスト、年々十一億圓ヅ
近年殖エテ來テ居ル、公債ノ日本銀行手持
ノ増加デアリマスガ、是ハ彼此レ十四億圓
位昨年度ニ比シテ殖エテ居ル、一昨年ト昨
年ノ比較ガ十一億圓幾ラ、段々十一億圓カ
ラ十四億圓位マデ、日銀ノ公債手持ガ年々
殖エテ行ツテ居ルヤウナ計算デアリマス、
ソレト今申シマス如ク、兌換券ノ發行高ヲ
十一月、十二月、一月ト三箇月平均致シマ
シテ、十三年度、十四年度、十五年度ヲ比
較致シマスト、十二億幾圓ヅツ年々殖エテ
行キマス、サウスルト百十七億ノ豫算デ百
三十五億、昨年ハ百億一寸切レテ居リマス
ガ、此ノ豫算デ百二十億、此ノ筆法デ行キマ
スト、ヤハリ兌換券ノ發行高ハ十三億圓位
マダ殖エテ來ルシ、日銀ノ手持公債ガヤハ
リ十二、三億圓位殖エテ行ク計算ニナリハ
セヌカト思ハレル、サウ云フモノヲナクシ
テ行クコトニスルトスレバ、ヤハリ百五十
億位ノ貯蓄目標デ進マナケレバイカヌノデ
ハナイカト思ヒマスガ、百三十五億ト申サ
レレバ、ソレデ宜シイガ、私ハサウ考ヘル、
ソレデ日銀ノ兌換券ノ發行高ハ、餘リ殖エ
ヌト御考ヘニナツテ居リマスカ、日銀ノ手
持公債ガ餘リ十五年度ニ比シテ殖エヌト云
フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ、其ノ點ヲ承
ツテ置キタイ

ラスコトガ結構ナノデアリマシテ、隨ヒマ
シテ百三十五億ノ目標ガ、幸ニ目標以上ノ
貯蓄ガ出来マスレバ、自然ト日銀ノ手持ガ
ソレダケ減少シテ參ルト云フコトニナラウ
ト思ヒマス、兌換券ノ發行額ノ増加ニ付キ
マシテハ、是亦別箇ノ考ヘカラ參ラナケレ
バナラスト思ヒマスガ、兌換券ノ流通高ガ
比較的多イト云フノハ、色々ノ原因ガアリ
マスガ、今日通貨ハ、市場ニ於ケル流通貨
ノ量ガ比較的多イト云フノハ、單ニ物資ニ
對シテ割合ガ多イト云フヤウニ、簡單ニ考
ヘラレマセヌデ、現金取引ガ非常ニ多イト
云フヤウナコトモアリマスノデ、此ノ流通
貨ガ多クナツテ居ルト云フコトハ、強チソ
レダケヲ以テ直チニ憂ヘルニ及バナイカト
存ジマス、サリトテ御説ノ通り百五十億程
度ノ貯蓄ガ出来マスレバ、洵ニ結構デアリ
マスガ、貯蓄目標ニ付キマシテモ、餘り無
理ナ計畫ヲ立テマシテ、其處ニ無理ガ生ズ
ルトイケナイト思ヒマス、サリトテ餘り用
心ヲシ過ギルト云フコトモ、此ノ場合消極
的ニ流レマスノデ、彼此レ勘案致シマシテ
百三十五億ヲ目標ト致シマシタナラバ、無
理モ行カズ、相當ノ結果ヲ得ラレルト考ヘ
テ居リマス

ウト思フ、最低一日ニ一錢トスル、其ノ一
億人ノ中ニハ、大臣モ御承知デセウガ、一
日ニ一人十圓位ノ貯蓄ヲシテ行ツテモ、生
活ニハ少シモ支障ノナイ人ガ澤山アリマス、
五圓、三圓、二圓、一圓、五十錢、三十錢、
二十錢、十錢、下ハ一錢ト云フヤウニ、ズ
ツト常會ヲ通ジテ收入ト生活費ヲ調べ上ゲ
テ行クナラバ、一日ニ一億國民ガ十錢平均
ノ貯蓄ハ出來ヌ筈ハナイ、サウスレバ三十一
六億五千万圓ト云フ貯蓄ガ一年ニ積エナケ
レバナラヌ譯デアル、是ハ机ノ上ノ議論ノ
ヤウニ御考ヘニナルカ知レマセヌガ、是ハ
シテ出來ヌコトハナイ、ソレヲ貯蓄組合法
ト云フヤウナモノデ、分類所得稅ヲ幾ラカ負
ケテヤルトカ云フヤウナコトデ、幾ラ稅金
ガ違ヒマスカ、アア云フ組合ヲ御作リニナ
ル御考ヘガアルラバ、常會ヲ通ジテ——ソ
レゾレ御列席ノ各位モ御考ヘ願ヒタイノデ
スガ、今或ル一家デ、オ前ノ所八月ニ幾ラ
貯蓄ヲシテ居ルカト聞カレテ、直グニ其ノ場
デ答ヘル者ハ餘計ナイ、或ハ簡易保險ニ幾
ラ、生命保險ニ幾ラ、郵便貯蓄ニ幾ラト、
斯ウズツト計算シテ見テ、月ニ幾ラシテ居
ル、年ニスルト是ダケシテ居ルト云フコト
ガ漸ク分ル、ソレデハ貯蓄ハ殖ヤセマセヌ、
此ノ年々殖エテ行ク公債ヲ、一キリ日本銀
行ノ手持ヲウント減ラス、ソレカラ日本銀
行カラ出テ來ル政府ノ支拂資金ガ國民ノ懷
ロニ入ツテ、ソレヲ還元サス一つノ方法ト
シテハ、先ヅ貯蓄デ以テ吸收スルノガ一番
吸收シ易イ、ダカラ常會ヲ通ジテ、アナタ
ノ家ハ幾ラ月ニ貯蓄ヲシテ居ルカト云フコ
トヲ先ヅ調査スル、サウシテ公債ガ殖エタ、
日銀ニ是ダケ公債ガ殘ツテ居ルカラ、此ノ
公債消化ヲ貯蓄ト云フモノデ昨年モヤツテ

居ツタ、其ノ貯蓄ハ其ノ高デヤツテ、本年ハ之ニ是ダケ一ツ餘計ニ貯蓄フシテ御奉公シヨウデハナイカト云フコトニ、津々浦々レダケニスルト云フコトヲ約束サシテ、常ニ到ルマデノ常會ヲ活用シテ、昨年度ハ幾ラデアルガ、本年度ハ之ニ幾ラカ増シテドレダケニスルト云フ譯ハコトヲ約束サシテ、常會ハ此ノ金ヲ集メル、其ノ金ハ公債消化デアリマス、斯ウ云フ風ニ全國的ニ集メタナラバ、一億人ト申シマシテモザツトノ話デアリマセウガ、何ニ致シマシタ所ガ全國民——内地ダケデモ宜シイ、一億人ト申シマスレバ、三十六億五千万ノ貯蓄ガ殖エネバナラヌノデス、之ヲ殖ヤセスト云フ譯ハナイデハアリマセヌカ、政府ノヤリ方デ是ハ出來ル筈デス、サウ云フ點ヲモウ少シ國民貯蓄獎勵ノ方デ御考ヘニナツタラドウデアラウカト思ハレル、此ノ日銀ノ手持公債ヲモツト減ラサウデハナイデスカ、ソレデ今政府ノヤツテ居ルコトハ、是ハアリ様ノコトヲ申上ダマスト、誰デモヤレルコトデス、各府縣へ割當テテ、ソレカラ市トカ、町トカ、村へ又割當テテ、村ハ又字へ割當テテ持テト言フ、ソレデハ政府ノ手腕ト云フモノハ何モナイ、私ハ能ク村長ヤ町長ニ賴マレテ貯蓄講演ニ參リマス、サウシテ話ヲスルト村長ヤ町長ガ非常ニ喜バレル、翌ル月ノ消化ガ宜カツタト云フ禮狀ガ來タノモ澤山アリマス、私共百四十回カラ講演ヲヤリマシタ、アノ實際ノ狀況ヲ見マスルト、政府デオヤリニナツテ居ルコトハ、ドナタデモヤレル譯デス、バラ／＼ト責任ヲ持タシテシマフ、ソレハ責任ト言ツタ所ガ、消化ガ出来ヌモノハ返シテモ差支ナイデセウガ、サウナツテ行クト立場ガ非常ニ苦シクナツテ行ク、ソレヨリカモ今言ウタ方法デ集マ

ツテ來ル金ヲ公債消化ニ充テル、能ク考ヘ
居リマス、李香蘭ト云フ、アレハ男カ女カ
分リマセヌ、何カ人デスガ、アレガ歌ヲ歌
ノノガ上手ダ、聲ガ良イト云ノノデ、劇場
ノ前ヘ何万ト云フ人ガ寄ツタ、其ノ集マツ
タ人ノ種類カラ言フト、先ヅ學生ガ半分居
ツタ、ドウデスカ、アノ新聞ガ地方ヘ行ツ
タラ、地方ノ人ハ何ト考ヘルデス、是ハ文
部大臣ガオイデニナラレバ責任ヲ質スノ
デアリマスガ、恐ラクアノ李香蘭ノ歌ヲ聽
キニ行カウト云フ學生ハ、相當ナ學校ニ行
ツテ居ル人ト思ハレル、文部省ノ報告ニ依
ツテ見マスルト、大學トカ或ハ官立ノ學
校九十六校、一人ノ學生ガ一年ニ國民
ノ祿ヲ食ムコト大ニシテ二千八百六十圓デ
アル、國民ノ祿ヲ食ム、帝大デ少イノガ
八百六十圓バカリ、專門學校デ五百圓、
六百圓、其ノ他私立學校ニ於テモ國家方
補助シテ居ル、國民ノ祿ヲ食ム又學校ガ何
處ニアリマスカ、假ニ一人ノ學生ガ學校ニ
居ツテ、一年ニ二千八百六十圓ノ國ノ金ヲ
食ツテ居ルトスレバ、其ノ子供ヲ學校ニヤ
ツテ居ル家庭ガ二千八百六十圓ノ稅金ヲ納
メタトシテモ、無稅ト同ジデアル、而モ其
ノ學生ハ父兄カラハ金ヲ送ツテ貰ヒ、國家
ノ金ヲ是ダケ年ニ食ツテ居ツテ、李香蘭ノ
聲ヲ聽キタイモアツタモノデヤナイ、此ノ
關係ヲ大藏大臣ハ、公債ノ消化ト日銀ノ兌
換券ノ發行高ノ殖エテ行ク、我ガ國ノ財政
ガ急ニ瀕シテ居リ、對外關係ニ於テモ此ノ
非常時、之ヲ考ヘテ、ナゼモツト之ヲ是正
ササンノデスカ、私ノ現ニ目擊致シタノデ

モ、學校ニ通ツテ居ル學生ノ「オーバー・コート」ガ百七十何圓、靴ハ六十五圓ダト云
フ、ドウデスカ大藏大臣、是ハ御相談デス
ガ、此ノ委員會ガ公債ヲ是ダケ發行スルコ
トヲ此處デ假ニ認メルト假定致シマシテ、是
ガ一昨年、昭和十四年末ノ公債消費ノ「ペー
セント」ト、昭和十五年度ノ公債消化ノ
「ペーセント」ト、約十「ペーセント」ト違ヒマ
セウ、十五年度ガ少イデセウ、是デハ此ノ
將來出シテ行カナケレバナラヌ公債ヲドウ
シテ消化ガ出來マス、モウ少シ強ク此ノ公
債消化ノ方法ヲ考ヘラレタラドウデス、今申
シタ學生ノ如キモサウデアル、「ケンブリッ
ヂ」大學ノ學生ハ、大學帽ヲ脱ギ捨テ軍帽
ト冠リ換ヘテ、第一線ニ立ツテ銃ヲ持ツテ
戰ツテ居リマス、千七百人カラ戰死シテ居
ルヂヤアリマセヌカ、今此ノ日本ノ現状ヲ
眺メテ、將來日本ヲ背負ツテ起タウト云フ
彼等ノ爲ニ、中堅國民ガ犠牲ニナツテ居ル、
其ノ事モ知ラズシテ、アノ日劇ノ前ノ騒動
ハドウデス、成程古イモノガアレバ、新シ
イモノヲ買ハズシテ、古イモノヲ良イモノ
デモ着テシマフト云フ方針デ、相當良イモ
ノヲ着テ居ル人モアリマセウ、ケレドモ是
ハ、新調スルノニハ金ガ要ルカラ、其ノ金
ヲ貯蓄シヨウデヤナイカ、古イモノヲ着レ
ルダケ着ヨウデヤナイカ、斯ウ云フ精神力
ヲ出テ來テ居ルノトハ質ガ違ヒマス、本年
ノ此ノ豫算ノ積エ方ト、昨年度ノ豫算ノ實
行トヲ見合セマシテ、昭和十六年ノ年度末
ニ至ツテハ、ドレダケノ公債ガ消化サレル
カト云フコトハ、今大臣ノ言ハレルノニハ
日銀ノ手持公債ヲ減ラスト云フコトハ難シ
イカモ知レヌケレドモ、殖サヌヤウニト云
フコトデアル、ソンナコトデハ將來イケマ

セヌ、是ハ減サナケレバイケマセヌ、減ラ
スノヲ無理シテト言ヒマスケレドモ、決シ
テ私ノ言フコトガ無理デヤナインデス、一
日ニ平均シテ此ノ内地ノ國民ダケデモ十錢
ヅツ背負フトシタラドウデス、一錢モ出來ヌ
人モアリマセウケレドモ、一錢ノ人ヲ最下
トシテヤレバ出來ヌコトハアリマセヌ、ソ
レト一面、他ノ委員ノ方カラモ御尋ネガア
ツタデスガ、是カラ産業方面ニ付テハ總テ
國家ニ靠レテ來マス、産業資金ノ上カラ考
ヘテ行キマスト、現在サウナツテ居ルデセ
ウ、株ノ値ガ下レバアア云フ會社ヲ作ル、
是ハ政府ヲ當テデス、政府ノ責任ガ段々重
クナル、ニモ拘ラズ此ノ殘ツテ居ル贅澤ハ
ドウデゴザイマス、國策會社ノ俸給ノ如キ
デモ、今中野君カラ御話ガアリマシタガ、
結局中野君モ考ヘレバ、アア云フ風ナ御質
問モスルデアリマセウ、道ヲ歩イテ居ツテ
モ、立派ナ自動車デスリト追越シテ走ツ
テ行キマスガ、其ノ自動車ヲ吟味シテ見ル
ト國策會社デアル、農民ヲ相手ノ組合、是
ノ一番偉イ方ガ年ニ七万圓取ツテ居ル、種
種出來ル國策會社ノ重役ガ年ニ二万圓以
ハ殆ドアリマセヌ、ソレデ恩給ヲ取ツテ居
ルカラ中野君ミタイノ話が出テ來ル、徹底
的ニ公債ノ消化ニ當ラシメタラ宜イデヤア
リマセヌカ、サウシテ行カナケレバ前途ド
ウナツテ行キマス、大體百万圓金ヲ持ツテ
居ル人ガ、二十五万圓ヅツ會社ニ出資致シ
テ居ツテ、二十五万圓出資シテ居ルガ爲ニ
重役ヲ皆取ツテ居ル、其ノ重役ヲ取ツテ居
ルト配當ハ一割ナラ一割、他ノ株主ト同ジ
ヤウニ取ツテ居ル、重役ノ報酬ガ年ニ一万
圓、ソレニ加ヘテ賞與ガアル、株ノ配當
ハ一割取ル、斯ウ云フ人ハ一般株主カラ考

ヘテ見マスト、何割カノ金ヲ餘計取ツテ
居リマス、而モソレガ其ノ會社デ技倆ガア
ルトカ何トカ云フ人ナラバ知ラヌコトデ
アリマスガ、平重役デアル、斯ウ云フヤウ
ナコトモ是正ヲシテ行キ、ソレカラ一ツハ
此ノ公債ノ消費ニ付テハ、株ノ利廻ト公
債ノ利廻ガ餘リ開キガアリ過ギル、之ヲ訂
正スル必要ハナイカ、詳シイ例ガアリマ
スケレドモ、之ヲ申上ゲルト長クナリマス
カラ申上ゲマセヌガ、歐洲戰爭ノ一番末期
ノ時ノ公債ト株ノ利廻ノ大キナ差、アレ
カラ考ヘテ見マスト、アレハ反動ガ來タ、
昨年ノ株ノ利廻ト公債ノ利廻ヲ見テミマス
ト、一分八厘カラ違ツテ居ル、是デハ公債
ノ方ニ金ガ廻ツテ來マセヌ、ダカラ郵便
貯蓄ノ利息ナンカハズツト御下ゲニナツタ
ラドウデス、サウシテ今言ウタ貯蓄ノ方法
デツ攻メテ行クト云フ風ナ考ヲ私ハ持ツ
テ居リマスガ、此ノ速記録ヲ纏メル考デ、
マダ御尋ネ申上ゲタイコトハ、一年中掛ツ
テモ申上ゲ切レヌ程ゴザイマスケレドモ、
他ノ委員ノ方々カラモソレド御質問ガア
ツタノデアリマシン、大藏大臣ハ此ノ委員
會ニ再び御出デニナラヌサウデアリマスカ
ラ、以上取纏メテ御質問申上ゲマス

サウ云ツタ一億ノ者ニ一錢ナリ十錢ナリ至一圓ナリ、茲ベテ貯蓄ノ餘力アリト決メテ掛リマスコトハ、如何カト思ツテ居リマスケレドモ、ソレ等ノ方法、ソレノミナラズ、色々御注意ナリマシタ點ハ、是ハ只今此處デ法律ノ改正ヲ致シマセヌデモ、出来ル方法ガ御説ノ通リマダ餘程アルデゴザ數年來ノ千遍一律ニ同ジコトヲヤツテ參ツタノデハ、其ノ成果ガ舉ラナイ、サウ云フコトヲ眼中ニ置クカラ、貯蓄ノ目的ガ舉ラヌグラウト云フ御話、御尤モデアリマス、是ハ尙ホ年度進行中敢テ法律ノ改正ヲ要シナイ範圍内ニ於キマシテ、種々ノ方法ガアラウト思ヒマスノデ、出來ルダケ考慮致シマシテ、又御智慧モ拜借シテヤツテ參リタイト思ツテ居リマス、唯今マデ通リノヤリ方モ、之ヲ更ニ俗ニ申ス馬力ヲ掛ケテ致セバ、モナイカト思ヒマス、只今例ヲ設ケラレマシタ日本劇場ノ前ニ於ケル雜沓ノ如キ、サウ云フ手合ガ居ルノデアリマスカラ、一層貯蓄ノ必要ナコトヲ説イタダケデモ效果ハアリ得ルデハナイカト思ツテ居ル次第デゴザイマス、ソレはレ考ヘ合セマシテ、百三十億ノ貯蓄目標デ兎ニ角サウ無理モナインデナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ御話ニナリマシタ隣組常會等ヲ利用スルト云フコトハ非常ニ面白イ思付デアリ、地方デハ既ニ大分之ヲ利用シテ居ルモノガアルヤニ聞キマス、唯強制貯蓄ト云フヤウナ觀念ヲ與ヘシメナイヤウニ致シマシテ、其ノ方法宜シキヲ得サセテ行キタイト考ヘテ居リマス

將來段々大シタ開キガナクナツテ來ル傾向ニアルノデハナイカト思ヒマスガ、是モ一舉ニ低下サスト云フコトハ、財界ニ非常ナ混亂ヲ生ジハシナイカ、又重役等ノ高給ヲ取ツテ居ルモノニ付テ、色々特殊會社ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、特殊會社ノ當ト云フモノハ比較的仕事ノ大キイ割ニハサウ過大トハ存ジマセヌ、最近特殊會社ガ大分出來マスガ、舊來ノ習慣ニ依リマスト、役員等ノ賞與ガ餘り多過ギルノデ、多少ソレヲ引下ゲテ行クト云フ傾向ガ寧ロアルノデハナイカ、ソレニシテモ何万ト云フノハ多過ギルト云フ御話ハ淘ニ御尤モト思ヒマスガ、一方民間デハ何万ドコロデハナク、モソット大キイノモアルヤニ伺ツテ居リマスノデ、サウ云フ方々ニハ御說ノ通り貯蓄ニ向ツテ十分努力スル、貯蓄ドコロデハアリマセヌ、サウ云フ大口ハ一舉ニシテ公債ヲ買ツテ貰ヘバ宜イ譯デ、十錢、一圓ノ零細ナ金ヲ集メテ、ソレヲ銀行ニ預ケテ公債ヲ買フト云フヨリモ、サウ云フ大口ノ、何万ト買ヘル方ガアリマスレバ此ノ上ナイコトデアリマスカラ、サウ云フ方ニ對シテハ此ノ時局ニ鑑ミテ十分消費ヲ節約シテ戴イテ、シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス、方法ニ付キマシテハ、立法手續ニ依ラズ、色々手モアラウト思ヒマスノデ、是ハ何レセラレンコトヲ政府ノ方カラモ十分獎勵致ス、今實際ヤツテ居ル所モアル、私モ至ラアラウト思ヒマス

スナガラサウ云フモノヲ作ツテ居ル、又ソレ等ニ時局ヲ認識サスト云フコトノ效果モアリマス、ソレハ大キイ所ハ大キイ所デ一ツ十分ヤツテ貰ハヌト、是ハ思想上ノ關係モ出テ参リマス、第一大都會ニ於テハ贊澤ヲヤツテ居ル、地方ヘ行ツテ見マスト、東京カラ來テ貯蓄講演トハ何事ダト言ウテ、テンデ頭カラ相手ニシナイ、サウ云フコトハ御如才ハアリマスマイガ、公債ハ段々高マツテ來マスカラ、日本國民ト致シマシテハーツノ物ヲ二ツニ分ケテ食ハウデハナイヤ、二ツディカナケレバ、三ツニモ四ツニモ分ケテ食ハウデハナイカ、分ケラレナイヤウニナツタナラバ、シガミ合ツテ死ンデ行カウデハナイカ、此ノ世界ニ特筆大書スベキ事變ノ眞只中ニアル日本國民デアリマス、皆裸ニナツテ飛込マウデハナイカト云フ所マデ政府ノ指導ガナサレナケレバ、此ノ事變處理モ相當困難デハナイカト思ヒマシテヤツタモノデセウカ。

○朴委員 折角今マデ待ツテ居リマシタカラ……

○松田委員長 ソレデハ朴君

○朴委員 私ハ半島ノ志願兵ノ問題ニ付テ申上ゲマシテ、陸軍當局ノ御意見ヲ承リタ問ハナイヤウデアリマス、アト陸海軍ニ對スル御質問ガアルヤウデアリマスガ、繼續シテヤツタモノデセウカ。

○朴委員 駐日大使館長代行退席、委員長着席

○松田委員長 是デ大藏大臣ニ對スル御質問ハナイヤウデアリマス、アト陸海軍ニ對スル御質問ガアルヤウデアリマスガ、繼續シテヤツタモノデセウカ。

テ、六百名採用サレタ、十五年ニハ八万四千ノ志願者ガアツテ、三千名採用サレタ、十

六年ノ志願者ハ十万七千人^々一月五日現在アツテ、三千名採用サレルコトニナツテ居マス、是ハ陸軍次官御承知ト思ヒマスガ、

私ハ是デハドウモ半島ノ志願兵ハ洵ニ少イデハナイカト思フノデアリマス、此ノ際半島人ニ對シテ、相當ナ血稅ヲ納メサセルト云フコトハ、内鮮一體ニ對シテ非常ニ意義アルコトデハナイカト思フノデアリマス、阿南次官ハ能ク御承知グラウト思ヒマスガ、

私ハ年々外地師團設置問題デ屢々、鞭撻モシ、要求モ致シマシタノデスガ、外地ニ師團ヲ設置スルノトシナイントデハ、事變ニ際シテ色々ナ不便ヲ感ズルト云フ點ハ、陸軍當局ノ能ク御承知グラウト思ヒマス、ソコデ私ハ半島ニ行キマスト、今マデ中產階級以上ノ志願者ガ少イト云フコトヲ聞キマシテ、中產階級以上ノ人モ成ベク志願スルヤウニ、是ハ朝鮮總督府ニ向ツテモ亦朝鮮ノ一般有志ニ向ツテモ之ヲ申シテ居ルノデアリマス、ソコデ十六年ノ十万七千人ト云フ志願ノ申込ガアルニモ拘ラズ、三千名シカ採ラナイト云フコトハ、何カ理由ガアリマスカドウカ、第一番ニソレヲ承リタイト思フノデアリマス

○松田委員長 朴君ニ一寸申上ゲマス、今日ハ委員會ノ方カラ要求ガアリマシテ、陸海軍ノ經理局長ノ御出席ヲ求メテ居リマシタノデ、陸海軍ノ次官ハ今日ハオイデニツテ居リマセヌ、ソレデ今日ハ經理ニ關スル點ニ付テノ御質問ヲ御進メ願ヒマス、若シナケレバ陸海軍ノ次官ノ御出席ヲ明日要致シテ置キマスカラ、其ノ時マデ留保サレテハ如何デスカ

○朴委員 ソレデハ私ノ質問ハ明日ニ致シマス

○松田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時四十二分散會

昭和十六年二月十八日印刷

昭和十六年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局